

TR-I-0056

合成用日本語音声データベースの概要
Outline of Japanese Speech Database for Synthesis

宮武 正典 匂坂 芳典
Masanori MIYATAKE Yoshinori SAGISAKA

November 1988

内容梗概

音声合成の研究に利用することを目的とした合成用音声データベースを構築したので、その概要を報告する。すでに構築されている「研究用日本語音声データベース」が単語と限定されたタスクにおける文章とで構成されているのに対し、本データベースには、文章、アクセントを考慮して作られた文、会話、種々の発声様式による単語、などが含まれている。本稿では、本データベースに蓄積されたそれぞれの音声タスクの発声内容、発声方法、格納形態、等に関して述べられている。前述の「研究用日本語音声データベース」とともに本データベースを種々に活用することで、音声合成・認識の研究において、より精度の高い成果が期待できる。

ATR自動翻訳電話研究所
ATR Interpreting Telephony Research Laboratories

目次

ページ

1. はじめに	1
2. データベースの全体概要	1
3. 各タスクの概要	3
4. まとめ	4
Appendix. 発声リスト	

3-095 5(2)-4(1)-**

01 荷造りは 業者に 頼んだ にづーくりは ぎょーうしゃに たの
ーんだ

3-096 **-5(2)-4(2)

01 事件の 手がかりを 掴んだ じーけんの てがーかりを つかーんだ
5(2)-**-4(2)

11 花束が ファンから 届いた はなーたばが ファーンから とどーい
た

12 花嫁が 実家に 戻った はなーよめが じっかに もどーった

13 人々は 崇りを 恐れた ひとーびとは たーたりを おそーれた

14 湖で 仲良く 泳いだ みずーうみで なーかよく およーいだ

15 早口で 一気に シャベった はやーくちで いーつきに シャベーっ
た

3-097 5(2)-**-4(3)

01 主催者が 注意を 促す しゅさーいしゃが ちゅーういを うな
がーす

3-098 5(3)-4(0)

3-099 5(3)-**-4(1)

01 大都市は 何でも 便利だ だいとーしは なーんでも ベーんりだ

3-100 5(3)-**-4(2)

01 大声で 何度も 怒鳴った おおごーえで なーんども どなーった

02 教科書を いくども 開いた きょうかーしょを いーくども ひら
ーいた

03 長男は ミルクで 育てた ちょうなーんは ミールクで そだーて
た

04 コーヒーは 苦くて 飲めない コーヒーーは にーがくて のめーな
い

05 大雨が 被害を 増やした おおあーめが ひーがいを ふやーした

3-101 5(3)-4(3)

1. はじめに

音声の研究を行う上で、音声データベースの質量がいかに重要であるかということとはあらためて言うまでもないだろう。ATRにおいては、音声の各種研究用として、共同利用可能な「研究用日本語音声データベース」の構築が進められている[1]。このデータベースは、重要語5240単語、音韻バランス単語、などの単語音声と、国際会議の申し込みに関する会話文の読み上げ音声とで構成されており、主として認識研究用に用いられている。

本稿で述べる「合成用音声データベース」は、上記「研究用日本語音声データベース」には考慮されていない種々の異なった発声が収められている。この「合成用音声データベース」は、通常の記事の朗読、アクセントを考慮して作られた文の朗読、対話形式の会話音声、種々の発声様式による単語発声、など少数話者の様々な発声を中心に構成されている。本稿では、第2節で本データベースの全体の概要について、第3節で個々のタスクごとにその格納形態、収録時の発声方法等について述べる。さらに、Appendixには、全収録語彙のリストを掲載した。

2. データベースの全体概要

発声者は、男女各一名である(表1)。基本的には、単語発声されたものは単語単位に、文章発声されたものは文章単位に切り出され、発声順に001から番号が付けられている。全体に対する統一的なファイル命名規則はなく、グループごとにディレクトリで分けられた階層構造になっている。各タスクの発声量の概略を表2に示す。

データはすべてMTで保存されている。リール番号はたとえば次のように与えられている。

MHT001-1/2

このうち、最初の3文字は話者名を、次の3文字はリールの通し番号を表す。各番号のMTはそれぞれ2本あり、1/2と示された方には①A/D変換したままの波形データ、②切り出され通し番号が付けられた波形データ、③番号が付けられた波形データに対応したラベルデータ、が格納されている。また、

表1 発声者

話者コード	性別/年齢	キャリア
MHT	男性(40)	ナレーター
FKN	女性(30)	ナレーター

2/2と示された方には、同じく②と③が格納されている。音声データはいずれも20kHzでサンプリングされたものである。(注1)

いずれのタスクも、①はCONTIG、②はDATA、③はLABELというディレクトリ内にまとめられている。

表2 合成用データベースの格納状況

リール番号	発声内容	発声量
001	バイオってなに?	33文(約470単語相当)
002	機械との共存	22文(約230単語相当)
003	スズメと人間	25文(約270単語相当)
004	春が来ると	115(文+単語) (約500単語相当)
005	沖縄のもずく料理	17文(約180単語相当)
006	いよめし	12文(約150単語相当)
007	芹そば	12文(約140単語相当)
008	北国の園芸だより	37文(約340単語相当)
009	単語セットA6	20単語×6回
010	単音節101	101単音節
011	会話セット1	11文×7回
012	キャリア付き単音節	109単語
013	文セット1	215文(約1210単語相当)
014	九州地方/ 関東地方	29文(約260単語相当) 28文(約250単語相当)
015	西ヨーロッパ/ アングロアメリカ	45文(約440単語相当) 43文(約430単語相当)
016	会話セット2	7文×8回
017	会話セット3	12文×8回
018	文セット2	3文(15単語相当)
019	単語セットCVb	62単語×8回(FKNは6回)
020	単語セットCVg	62単語×8回(FKNは6回)
021	単語セットCVk	62単語×8回(FKNは6回)
022	単語セットCVs	62単語×6回
023	単語セットCVm	60単語×6回
	文セット3(2文節)	
	文セット4(3文節)	

(注1) 文セット3・4のラベルデータは作成されていない。

3. 各タスクの概要

次に、各タスクごとの発声内容について示す(表3)。

表3 音声合成用データ内容(その1)

発声内容	出典	発声形態
1. バイオってなに?	[2]	通常の記事朗読
2. 機械との共存	[4]	通常の記事朗読
3. スズメと人間	[5]	通常の記事朗読
4. いよめし	[3]	通常の記事朗読
5. 芹そば	[3]	通常の記事朗読
6. 沖縄のもずく料理	[3]	通常の記事朗読
7. 北国の園芸だより	[2]	通常の記事朗読
8. 九州地方	[6]	通常の記事朗読
9. 関東地方	[6]	通常の記事朗読
10. アングロアメリカ	[6]	通常の記事朗読
11. 西ヨーロッパ	[6]	通常の記事朗読
12. 春が来ると		ひとつの文を基本とし、各文節の順序を種々に変えたり省いたりしたもの、一部を単音節発声したもの、などを含んでいる。発声リストの漢字・平仮名は通常の記事朗読、片仮名は単音節発声(イントネーションはできるだけ自然にして音節間にポーズを入れる)
13. 文セット1		高頻度付属語接続上位259語[7]を含む文の朗読。自立語に関しては極力重要語5240語[8]中から採用。
14. キャリア付き 単音節		「これは ateCVberi です」ラベルは ateCVberi の部分にのみ付与された。
15. 単音節101		通常の記事朗読
16. 単語セットCVb		語中にCVb(CVは拗音を除く音節)を含む単語を種々の様式で発声したもの。 通常(normal)、高く(pitch_high)、小さく(pitch_low)、大きく(power_high)、小さく(power_low)、速く(speed_fast)、通常(speed_norm)、ゆっくり(speed_slow)、の8回発声。 発声者FKNは、高く・低くの詳細データはない。 ()内の名称のディレクトリでグループ分けされている。
17. 単語セットCVg		単語セットCVbに準じる。
18. 単語セットCVk		単語セットCVbに準じる。

(出典は参考文献の番号を表す)

表3 音声合成用データ内容(その2)

発声内容	出典	発声形態
19. 単語セットCVs		単語セットCVbに準じる。ただし、発声者MHT、FKNとも、高く・低くのデータはない。
20. 単語セットCVm		単語セットCVsに準じる。
21. 単語セットA6		単語セットCVsに準じる。
22. 会話セット1	[9]	通関手続の場面での会話文。会話発声は発声補助者との掛け合いで行った。通常(normal)、急いでいる調子で、(isogi)怒っている調子で(okori)、話者Aは不安げに、Bは親切に(shinsetsu)、の4つの様式で会話を行い、それぞれ交代して両方の役で発声し、発声者の音声のみを切り出した。 同じ文章を速く(speed_fast)、通常(speed_norm)、ゆっくり(speed_slow)の3回、朗読した。 ()内の名称のディレクトリでグループ分けされている。
23. 会話セット2	[9]	駅での会話文。会話セット1に準じる。通常の文章朗読(reading)も含む。
24. 会話セット3	[9]	郵便局での会話文。会話セット2に準じる。
25. 文セット2		母音を中心にした文、鼻音を中心にした文、無声子音を中心にした文。通常の文朗読
26. 文セット3		3~7モーラの2文節からなり、種々のアクセント型の組み合わせを含む文。通常の文朗読
27. 文セット4		3~7モーラの2文節からなり、2タイプの構文構造、種々のアクセント型の組み合わせを含む文。通常の文朗読

(出典は参考文献の番号を表す)

4. まとめ

合成用音声データベースについて、概略を述べた。本データベースを種々に活用することにより、音声の分析・合成の研究において、より精度の高い成果が期待できる。本データベースは音声の分析・合成の研究に供することを主な目的としているが、音声認識の研究においても利用できるものであり、前述の「研究用日本語音声データベース」とともに、十分活用されることが望まれる。

[参考文献]

- [1] 武田、匂坂、片桐、阿部、桑原「研究用日本語音声データベース利用解説書」ATRテクニカル・レポートTR-I-0028:TR-A-0026(1988年5月)
- [2] NHK「きょうの園芸」(1986年)
- [3] NHK「きょうの料理」(1983年)
- [4] 中学校国語教科書 東京書籍(昭和53年)
- [5] 小学校国語教科書 光村図書(昭和53年)
- [6] 中学校教科書「新編 新しい社会」東京書籍(昭和53年)
- [7] 国立国語研究所「電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅲ)」秀英出版(昭和47年)
- [8] 「新明解国語辞典 第2版」三省堂(昭和47年)
- [9] 高木他「BASIC SITUATIONAL JAPANESE 1」アメリカ・カナダ十一大学連合日本研究センター(1975年)

Appendix 発声リスト

1. 「バイオってなに？」

- 001 やさしいバイオテクノロジー
- 002 園芸サイエンス
- 003 バイオってなに？
- 004 原田 宏(ひろし) 筑波大学生物科学系教授
- 005 これから21世紀にむけて、園芸植物の品種改良や繁殖には、どのような新しい技術が、どのように取り入れられていくのかを中心に、植物のバイオテクノロジーについてお話しします。
- 006 身近なバイオテクノロジーの効果
- 007 バイオテクノロジーといっても、何も、最近になって突然この世に現われてきた技術ではありません。
- 008 みなさんが毎日楽しんでいる草花、おいしい果物、あるいはよく卵を産むニワトリなど、毎日恩恵を受けているほとんどの作物(さくもつ)や家畜は、人間が長い間英知をかたむけ、技術を駆使してつくり上げてきたバイオテクノロジーの産物に他(ほか)なりません。
- 009 もっとも最近になって急に、バイオ、バイオと多くの人がいい出したのも、それなりの理由がないわけではありません。
- 010 その理由を説明していく過程で、今日いわれているところの「バイオテクノロジー」の一部を理解し、興味をもっていただけのではないかと思います。
- 011 バイオテクノロジーのルーツ
- 012 我々の遠い祖先が、1万年ばかり昔に、非常に原始的な農業らしいものを始めてから、先人の頭には常に二つの夢というか、望みがあったことと思います。
- 013 一つは、それまで栽培していた植物と比べて、何かより優れた特徴をもったもの、例えば、病気に強いとか、寒さにあっても枯れにくいとか、おいしい実がたくさんなるとか、花が美しいとかが見つかったと

き、何とかしてそのよい性質をもった植物を、そのまま繁殖させたいということなのです。

014 もう一つは、自分の力で、何とかよりよい性質をもった植物を、つくり出したいという願望です。

015 そして、最初の望みをかなえるための方法として、生み出されてきたのがさし木やさし芽、つぎ木、とり木などの、現在、栄養繁殖法といわれている、家庭園芸でもなじみの深い技術です。

016 二つ目の目的を果たすために試み出されたのが、人工交配と、人為的に突然変異を起こさせることです。

017 現在のバイオテクノロジーは

018 もちろん、植物を上手に育てるという観点から見た場合には、多くの他(ほか)の技術、例えば、どういう肥料をいつどのくらい施せばよいのか、というようなことも、大へん重要なのですが、植物の分野で現在いわれている「バイオテクノロジー」ということになると、それはだいたい次の三つの分野であり、それらの分野で、特に威力を発揮するということがいえます。

019 その中の一つは、前述したような品種改良とか育種といわれる領域で、もう一つは、大量クローン増殖といわれる分野です。

020 三番目は、特別の植物の細胞を、タンク内で大量に培養して、化学合成するのが難しく、かつ高価な物質を、植物細胞につくらせる技術です。

021 その例としては、ムラサキという植物の根の細胞を、タンク培養して、シコニンという紫色の色素を生産する方法や、漢方薬として知られている、朝鮮ニンジンの細胞を、タンク培養で迅速、かつ大量に増やす技術などがあげられます。

022 しかし、この技術は、本誌の読者には比較的關係が少ないので、もし紙面に余裕ができたなら取り上げることにして、今回は、初めの二つについて、主に話を進めていきましょう。

- 023 4月と5月は、それ以降の話を理解しやすくするために、いくつかの基本的な問題について、若干の説明をすることにします。
- 024 分化全能性があることができるバイオテクノロジー
- 025 まず、聞きなれない言葉かもしれませんが、分化全能性という言葉の頭に入れてください。
- 026 これは、やさしくいうと、植物の細胞がもっている潜在的能力の一つで、一つの細胞から、茎も葉も根もある完全な植物体をつくり上げる能力のことです。
- 027 細胞が単に分裂だけを繰り返して細胞の塊りができるような場合には、細胞増殖とか単に増殖といい、葉、茎、根、花など、単なる細胞の集団ではなく、一定の形、構造、機能などを整えた器官や組織ができ上がってくる場合には器官分化といいます。
- 028 植物細胞が分化全能性をもっているであろうということは、前世紀末から予測はされていたのですが、これが実験的に証明されたのは今世紀の半ばも過ぎてからのことです。
- 029 しかも、未(ま)だ一部の植物についてだけの話です。
- 030 しかしながら、植物では、受精した卵細胞からの個体の発生と同じようなことを体細胞からも人為的に起こし得るわけで、これは動物細胞とは非常に異なる点です。
- 031 植物細胞に分化全能性があるからこそ、後述するような細胞融合や遺伝子の導入技術を品種改良に生かすことができるのです。
- 032 もっとも動物でもトカゲのシッポのように再生することがよく知られている場合もありますが、高等動物では植物に見られるような体細胞からの再分化現象は起こりません。
- 033 分化の原理が本当に解明できた暁には、人間の体細胞の一つ一つからでもいわゆる「クローン人間」をつくることも可能になるのかも知れませんが、目下のところは、それができるのは孫悟空だけでしょう。

2. 「機械との共存」

- 001 機械との共存
- 002 高木 純一
- 003 今日の社会には、機械と人間にかかわりのある問題が非常に多くなっている。
- 004 日常生活をおびやかす公害問題や交通事故の問題などもそれである。
- 005 これらの問題は、どれも複雑な社会の仕組みと関連していて、簡単に解決できるというものではない。
- 006 公害問題は産業や経済と深く結び付いているし、交通の問題は、都市と農村とを問わず、今日の生活から切り離すことができない。
- 007 つまり、現代の社会は、機械によって高度の文明を実現しながら、その反面、好ましくない、多くの矛盾を抱えているのである。
- 008 したがって、機械と人間との関係について、ここで根本的に考え直してみることは、意味のあることである。
- 009 現代の社会で重要な役割を果たしている機械も、決して突如として生まれてきたものではない。
- 010 考える能力と造る能力とがあり、積極的に環境を変えようとする意欲を持った人類は、簡単な道具からより複雑な装置を工夫し、次第に機械らしいものを考えていった。
- 011 車輪・テコ・歯車・ポンプのたぐいがこれである。
- 012 いったん発明された機械は、その進歩が速い。
- 013 殊(こと)に蒸気機関のような動力を出す原動機が発明されてからは、機械の威力は決定的なものとなった。
- 014 そして、機械の性能が高まるにつれて、人間のいろいろな機能と関連し、その機能を代用するようになってきた。
- 015 例えば、電話は耳に、自動車は足に、といった具合である。
- 016 人間の持つ複雑な精神活動を別にすれば、機械は、人間の能力の限界を突き破り、可能性を大幅に延長したといえよう。

- 017 しかし、初めは人間に奉仕する忠実な召し使いであった機械が、逆に人間を巻き込んで活動し始めた。
- 018 機械は人間が創造したものであったが、後には、人間は機械なしには生きられなくなり、機械との共存を強いられることになった。
- 019 そして、更に機械は、人間に今までとは違った生活態度を要求するほどになった。
- 020 例えば、疲れたとき眠くなるということは、人体の健康を保つための生理であるが、自動車を運転している人にとっては、眠くなるということは、最も危険な状態なのである。
- 021 このように、自然の生活の中で長い間かかって作られた人間の適応性というものが、身体(からだ)の仕組みから生活態度に至るまで、機械との共存によって変化させられることになったのである。
- 022 現代社会は、こうした意味で、機械文明との新しい調和を考えなければならぬ時期に来ているのである。

3. 「スズメと人間」

- 001 スズメと人間
- 002 浦本 昌紀(まさのり)
- 003 スズメくらい、だれでも知っている鳥はあるまい。
- 004 むかし話やことわざにも登場するのだから、スズメは、かなり以前から日本(にほん)人に親しまれてきたのだろう。
- 005 現在、スズメは、南から北まで日本(にほん)全国いたる所に住んでいる。
- 006 しかし、スズメは、文字どおり「いたる所」に住んでいるのであろうか。
- 007 すこし山歩きをしてみればすぐに分かるが、村落の間を歩いているうちは聞こえていたスズメの声が、そこを出て登りにかかると、すぐに聞こえなくなってしまう。
- 008 平地でも、たまごを産んでひなを育てる時期であれば、人家から数百メートルはなれると、スズメのすがたはほとんど見られなくなる。
- 009 秋にはもう少し遠くで見られることはあるが、それでも、人家から何キロメートルもはなれた所でスズメを見かけることはない。
- 010 スズメは、人家付近にしか住んでいないのである。
- 011 このように、スズメは人間との結び付きが強い鳥だと思われるが、それならば、人家の数の変化によって、スズメの数はどのように変化するのでしょうか。
- 012 わたしは、人家が少なくなるとスズメの数も少なくなり、人かげのたえた所では、スズメもやがてすがたを消すだろうと予想していたが、今まで実際に確かめる機会がなかった。
- 013 ところが、最近、ある学者の長年にわたる調査研究の結果から、そのことが明らかになった。
- 014 長野県北部の雪深い地方のある山村では、この十年ばかりの間に人家の戸数がどんどんへっていき、とうとう全員山をおりてしまった村落が六つも現れた。

- 015 すると、人家があったときには一つの村落に平均六十ばもいたスズメが、一年後には一わもいなくなったというのである。
- 016 一方、それまで人の住んだことのない所に、夏季のすずしさと冬季の積雪を利用して、観光地やスキー場が造られるようになった。
- 017 すると、そこに人が住み着き、新しい村落が出来る。
- 018 こうして出来たある村落には、十四世帯が定住したが、そのころからスズメはどこからともなく集まり、わずか二年足らずのうちに、六つのすが発見できたということである。
- 019 この報告によって、スズメと人間の結び付きは、見事に実証されたことになる。
- 020 では、なぜ、スズメは人家の近くにだけ住んでいるのか。
- 021 まだ、この問題は解決されていない。
- 022 農作物を食べるから、という考えがあるが、正しいとはいえないようだ。
- 023 それは、こく物が田畑でスズメのえさになるのは収かく期前後のわずかな時期だけであって、これではえさのとほしい冬を切りぬけることができない、ということを考えてみれば分かる。
- 024 また、田畑から遠い住たく地や都会にスズメが数多く住んでいることからしても、そうでないことが分かる。
- 025 ただ、この問題を解くかぎの一つが人家にすを作ることにあり、また一つがニワトリやイヌ・ネコなどのえさにかなりたよって生活することにある、ということは、まちがいないだろう。

4. 「いよめし」

- 001 いよめし
- 002 高知・佐賀町
- 003 高知から、土讃本線と中村線に乗って南西へ約2時間あまり行くと、土佐佐賀という駅があります。
- 004 この佐賀は、幡多(はた)郡佐賀町の中心となるところで、南に土佐湾を見、西は海岸近くまで山々が迫るわずかな平坦地に広がる、半農半漁の静かな町で、かつお漁の母港としても知られています。
- 005 今回紹介する“いよめし”は、魚(さかな)の“うお”が“いよ”と変化したもので、このあたり一帯では、古くから、結婚式とか葬式、お祭り、船おろしといわれる進水式など、おおぜいのお客さんを招いたり、たくさんの人が集まるときには、必ずといってよいほどつくられてきたものです。
- 006 そして、今でも、実際の生活の中に根づいているものです。
- 007 このいよめし、多くの量をつくることもあるのですが、屋外で、大きなかまを使って炊き上げられるのが普通です。
- 008 炊き上がったら、魚を取り出して身をほぐし、ご飯と混ぜ、器に取り分けてお客さんに配ります。
- 009 多いときには、5升炊きの大がまで炊くこともあるとか。
- 010 南国高知の、あけっぴろげで、こだわりのないおおらかな気分がつくりだした、豪快な料理といえるのではないのでしょうか。
- 011 ただこのいよめしは、あくまでも昼の食事としてつくられるものです。
- 012 これに続く夜の料理が、昼の素朴な料理から、大皿にさまざまな料理を盛りつける豪華な皿鉢(さわち)料理へと変わるころには、宴席はさらに盛り上がり、酌み交わす酒の量も、ぐ~んとメートルを上げることになるのです。

5. 「芹そば」

- 001 芹そば
- 002 静岡・御殿場市
- 003 御殿場市は、富士山と箱根山にはさまれ、富士山の広大なすそ野に広がる町で、富士吉田、富士宮とともに、富士山の登山口のひとつとして、山好きの人にはおなじみのところではあります。
- 004 標高500mあまりの富士山のすそ野に広がっているため、町全体が緩やかな斜面になっており、そのため、たんぼや畑の片隅などいたるところから、富士山の伏流水がチョロチョロとわき出ています。
- 005 そういうわき水の出るところには、必ずといってよいほどせりがはえており、冬でも枯れることはありません。
- 006 特に春先のころには、鮮やかな緑の新しい葉を茂らせます。
- 007 また、御殿場は、昔からのそばの産地でもあり、秋になると、火山灰土の畑のあちこちに、まっ白なそばの花が咲きそろい、10月末には黒い実をつけます。
- 008 この黒い外皮を取ってひいたものがそば粉になるのです。
- 009 地元には、女性は、そば打ちができないとお嫁に行けないし、そば打ちのできない嫁はもらうなといった話が残っています。
- 010 今回紹介するせりそばは、このせりとそばを使ったもので、現代人が忘れかけている、早春の味と香りを、素朴な風味で味わわせてくれるものです。
- 011 そばの中の、鮮やかなせりの緑色、独特の香り、シャキッとした歯ざわりと気取りのない味は、日本料理の基本を見るような思いがします。
- 012 このせりそばは、冬から春先にかけて、結婚式とか法事などの集まりごととか、大みそか、小正月、お節句などの年中行事にはよくつくられるものですが、特に、早春のころの新しく出たすがすがしい緑の葉を使ったせりそばは、せりのもち味をじゅうぶんにたんのうさせてくれるものです。

6. 「沖縄のもずく料理」

- 001 沖縄のもずく料理
- 002 沖縄・伊平屋(いへや)島
- 003 伊平屋島は面積約21平方km、沖縄県最北端の島で、現在1500人ほどの人々が暮らしています。
- 004 真冬でも気温10度を下ることのめったにないこの島では、温暖な風土を生かした農業が盛んですが、なかでも、さとうきびと米の栽培はその中心です。
- 005 さとうきびは正月前から取り入れが始まりますが、倒して、葉を取り、束ねる一連の作業はかなりの重労働といえます。
- 006 しかし、島内にある製糖工場が動く3か月間は、雨が降ろうが風が吹こうがその作業を止(や)めるわけにはいきません。
- 007 収穫は3月末まで続きますが、その間(かん)には米の1期作の準備も始まって、農家は忙しい毎日を送るのです。
- 008 このようにして始まるこの島の一年には、農閑期といえる時期がほとんどありません。
- 009 豊かな自然の恵みがあればこそそのことですが、その恵みは農作物(のうさくぶつ)に限ってのことではありません。
- 010 島の東側で太平洋、西側で東シナ海に臨む伊平屋島には、豊かな海の自然があります。
- 011 沖縄ならではの珍しい色とりどりの熱帯魚もそのひとつですし、今回、紹介するもずくもそのひとつです。
- 012 さんご礁の海辺では天然のものも多く取れますが、近年、養殖が本格的に行われるようになり、県全体の生産量の約1割が生産されています。
- 013 沖縄のもずくは本州のものに比べ、太めで柔らかいのが特徴ですが、伊平屋島のものは、口当たりがよく、しかも品質がそろっていることで高い評価を受けています。
- 014 これも、この島の自然環境が生育の条件をじゅうぶんに備えているからでしょう。

- 015 ところで、このもずくの商品価値が認められるようになったのは、ごく最近のことです。
- 016 「こんなものが商品になるとは思いもよらなかった」というもずくが、ノーカロリーであることや豊富にカルシウムが含まれていることで、現代の食生活の中で、今、注目されています。
- 017 島の人々も、昔ながらの食べ方に加え、数多くの新しい料理をくふうして、食卓にとり入れようとしています。

7. 「北国の園芸だより」

- 001 北国の園芸だより
- 002 北海道
- 003 今年の冬は、例年に比べて雪が多く、庭木の枝折れや裂けるなどの被害が多く見られました。
- 004 再生の見込みのないものは、早めに切り取ります。
- 005 被害の軽いものは、傷口を合わせ、添え木をして、シュロ縄などでかたく結束し、傷口の癒合(ゆごう)をはかります。
- 006 庭木などは、雪が解け、庭土が乾いて、気温が安定したら、冬囲いを外し、有機質を主体とした肥料を施します。
- 007 室(むろ)囲いをしてある盆栽や鉢植えのサツキなどは、あまり急いで出す必要はありませんから、気温が安定してからにします。
- 008 エビネなどの山野草も、棚の上に出しますが、乾燥させないように注意してください。
- 009 下旬ごろからは、バラ、ツツジなどの庭木類の植えつけの適期になりますが、購入してすぐに植えられない場合は、仮植えをし、根を乾かさないようにしておきます。
- 010 また、庭木類の植え替えは、新芽が出る前が適期です。
- 011 夏の短い北国でのカンナ栽培は、今から鉢に植え、加温してある室内に入れて、あらかじめ芽出しをし、晩霜(おそしも)の心配がなくなってから庭に植えつけると、花も早くから楽しめます。
- 012 貯蔵してあるダリアで、すでに芽の出ているものは、芽が伸びないように、涼しい場所に置いて、植えつけ適期まで待ちます。
- 013 鉢植えで育てているツツジ類、ツバキ、アセビなどは、花の終わったものから整枝(せいし)し、植え替えます。
- 014 また、花の終わったクンシランも、下旬には植え替えます。
- 015 植え替えをしていないシンビジュームは、急いで行い、デンドロビュームなどは、新芽が出始めてから植え替えます。

- 016 ポトス、ヘデラ類、ベンジャミンゴムなどの伸びすぎたものは、適当に切り詰め、姿を整えます。
- 017 東北、北陸地方
- 018 1年のうちで、南の地方と北国で、花の咲く時期の違いが一番はっきりとするのが4月です。
- 019 昨年のメモから、仙台市では、4月の初めにウメ、ジンチョウゲ、中旬にツバキ、サクラ、レンギョウ、ハクモクレン、下旬にアセビ、モクレン、そして4月の終わりからチューリップが開花しています。
- 020 仙台付近のお花見は4月20日ごろ、弘前市では5月に入ってからです。
- 021 ですから、北国の園芸作業は、急いで失敗しないよう、十分に注意が必要な時期です。
- 022 冬の間(あいだ)、保温に苦労したクンシラン、ベンジャミンゴムなどの鉢ものを、昼間の暖かさで外へ出し、翌朝の霜で傷めてしまうこともあります。
- 023 十分に温度変化に気をつけてください。
- 024 4月は日ざしの強さにも要注意です。
- 025 室内の弱光線に馴れた鉢ものを急に戸外に出して、日やけを起こさないように、徐々に日光に馴らしていく必要があります。
- 026 クンシランやシンビジュームは、一般家庭では4月に開花するのが普通です。
- 027 早めに花茎(かけい)を切り取り、株の負担を軽減させ、新しい生長を期待したいものです。
- 028 植え替えは5月中旬以降が無難です。
- 029 盆栽や鉢植えの花木(かぼく)の植え替えは、4月上旬ごろから行えますが、芽の動きの早い種類から始め、植え替え後は軒下など、風や霜の当たらない場所で保護してやります。
- 030 4~5月(しごがっ)は、各地で園芸即売会が開催されます。
- 031 好みのものを求め、なるべく早く植えつけましょう。

- 032 春まき草花(くさばな)のタネまきも4月が適期ですが、霜の心配がなくなるまで待ちましょう。
- 033 やや高温を必要とする種類は、5月以降になります。
- 034 今月は、山野(さんや)の植物の活動を始める月でもあります。
- 035 カタクリの花が咲き、ショウジョウバカマが落ち葉の間から顔を出したりします。
- 036 雑木林のシデの仲間の花、クロモジの黄色い花、キブシの花と楽しみが付きません。
- 037 雪解けの山の日だまりでは、フクジュソウやミスミソウなどの花も見られます。

8. 「九州地方」

- 001 第2章 九州地方
- 002 九州地方のあらまし
- 003 アジア大陸に近い位置
- 004 九州地方は、日本(にほん)列島のなかでは、朝鮮・中国や東南アジアの国々にもっとも近く、古くからアジア大陸との結びつきが強かった。
- 005 米作(べいさく)が、大陸から最初に伝えられたのは北九州であった。
- 006 また、遣唐使をはじめ、アジア大陸との交流は、九州をつうじて行われ、ヨーロッパの文化も、まず九州に伝えられた。
- 007 明治にはいり、北九州は大陸との貿易の発展によって産業が発達した。
- 008 しかし、第二次世界大戦後、中国との貿易がとだえたこともあって、日本のなかの九州の地位は変わってきている。
- 009 九州の自然
- 010 九州地方は、大きく北九州と南九州とに分けられる。
- 011 北九州には、筑紫(つくし)山地などの山地もあるが、筑紫平野をはじめとする平野がひらけている。
- 012 また、海岸線の出入りが多い。
- 013 南九州には、平野が少なく、けわしい九州山地がある。
- 014 また、阿蘇山・桜島などの火山があり、南部には、火山灰におおわれた台地が広がっている。
- 015 九州の南方には、1100kmにわたって、南西諸島がつらなっている。
- 016 九州地方は、日本のなかでは低緯度にあり、周辺の海には暖流の日本海流と対馬海流が流れているため、いっばんに暖かい。
- 017 南西諸島の気候は、北部を除いて亜熱帯性の気候である。
- 018 ガジュマルなどの熱帯植物がしげり、海岸には、さんごしょうが広くみられる。
- 019 九州地方は、台風の進路にあたることが多く、また、梅雨(ばいう)のときにはしばしば大雨にみまわれる。
- 020 南北の地域差の大きい九州

- 021 九州地方は、工業が発達している北九州と、農林業が産業の中心である南九州や交通が不便で産業がおくれている南西諸島との地域差が大きい。
- 022 北九州には、明治以降、鉄鋼を中心とした工業地帯がつくられた。
- 023 また、筑紫平野に代表される平野では、豊かな水田農業が営まれ、米のほか、畳表(たたみおもて)の材料になるい草の生産も多い。
- 024 近年、みかんの栽培がさかんになり、全国の生産の3分の1以上をしめるようになった。
- 025 福岡市は、九州の政治・経済・文化の中心として、また、北九州市は、工業都市として発達している。
- 026 南九州の産業は、北九州に比べてふるわない。
- 027 おもな産業は農林業で、宮崎平野では、冬でも温暖な気候をいかした野菜の促成栽培が発達している。
- 028 工業は、九州山地の水力発電による電力を利用した化学工業がおもなものである。
- 029 八代海(やつしろかい)沿岸の化学工業による公害は大きな問題である。

9. 「関東地方」

- 001 第6章 関東地方
- 002 関東地方のあらまし
- 003 日本(にほん)の中心
- 004 東京は、かつて江戸とよばれた。
- 005 17世紀に、幕府がここにひらかれてから、日本の政治の中心となり、人口も100万をこえた。
- 006 明治になり、東京とあらためられて、首都として発展し、現在では、政治・経済・文化など、わが国のあらゆる部門の中心になっている。
- 007 江戸時代のおもな街道、明治以降の鉄道、近年の新幹線・高速自動車道など新しい交通網も、多くは東京を中心につくられている。
- 008 また、東京国際空港は、日本の玄関になっており、内外の人々の往来がはげしい。
- 009 関東地方の自然
- 010 関東地方の西には、関東山地がつらなり、北には、三国(みくに)山脈や阿武隈山地があって、他(ほか)の地方との境となっている。
- 011 これらの山地に囲まれて、日本一広い関東平野がある。
- 012 関東平野の大半は、赤土でおおわれた武蔵野などの台地である。
- 013 そのあいだを、利根川などの多くの川が流れ、流域に低地をつくっている。
- 014 海岸線は、いっばんに単調である。
- 015 房総と三浦の2つの半島が東京湾を囲んでいる。
- 016 気候は太平洋岸式気候で、夏から秋にかけて比較的雨が多い。
- 017 冬はよく乾燥し、北西の季節風が強くふく。
- 018 太平洋に分布する伊豆諸島南部や小笠原諸島は、亜熱帯性の気候である。
- 019 東京を中心とした関東平野
- 020 関東平野は、東西・南北ともに130kmをこえている。

- 021 山地の多い日本列島のなかで、これだけの平らな土地があるところは、ほかに例がなく、多くの人口が集中するのを可能にしている。
- 022 また、関東地方の面積に対する耕地の割合はきわめて高い。
- 023 東京都とその周辺の神奈川・埼玉・千葉の3県には、全国の人口の約25%が集中して、大都市圏が形成されている。
- 024 また、京浜工業地帯をはじめ工業の集中もいちじるしい。
- 025 そのまわりは、農業地域になっていて、市街地からやや離れた近郊農村では、野菜などの栽培がさかんである。
- 026 関東平野の北西部は、わが国第1の養蚕地帯であり、桐生市などで、製糸業と絹織物業が行われている。
- 027 近年、関東地方の内陸部には、多くの工業団地がつくられている。
- 028 巨大な都市人口をひかえた東京の周辺には、箱根や日光、湘南海岸・南房総など多くの観光地がある。

10. 「アングロアメリカ」

- 001 アングロアメリカのあらまし
- 002 日本(にほん)の北東の国々
- 003 北アメリカ大陸のうち、アメリカ合衆国とカナダがアングロアメリカとよばれる地域である。
- 004 太平洋をはさんで日本の北東に位置しており、あいだに日付変更線があって、日本より日付が一日おそい。
- 005 アングロアメリカの自然
- 006 この地域の太平洋がわには、長大なロッキー山脈が南北にはしっている。
- 007 その東がわには広い中央平原があり、北極海からメキシコ湾までつづいている。
- 008 南部にはミシシッピ川が流れて、豊かな平野をつくっている。
- 009 南東部には温帯湿潤気候が広がり、南部のフロリダ半島は亜熱帯性の気候である。
- 010 五大湖から北は冷帯で、カナダやアラスカにはツンドラ気候がみられる。
- 011 ミシシッピ川から西はしだいに乾燥し、ステップやさばくがあるが、太平洋岸には西岸海洋性気候や地中海性気候もみられる。
- 012 植民地から世界の中心へ
- 013 この地域の東海岸にあったイギリスの植民地の人々は、18世紀後半、本国から独立してアメリカ合衆国をつくった。
- 014 その後、西部に向かって開拓を進めて、インディアンの土地をうばい、19世紀には太平洋岸に達した。
- 015 独立と開拓の精神は、アメリカの国民性をつくる基礎となった。
- 016 アメリカは、第一次・第二次両世界大戦をつうじて急速に発展し、世界の指導的な国となった。

- 017 世界有数の商船隊をもち、工業製品や農産物を大量に輸出し、貿易額は世界最大になった。
- 018 その豊かな経済力と強力な軍事力を背景に、アメリカは発展途上国の資源開発に投資を行い、工業国には大企業を進出させ、また、各地に軍事基地をおいている。
- 019 カナダは、はじめフランスの植民地として開拓された。
- 020 その後イギリスの植民地となり、20世紀にはいって独立国となった。
- 021 二つの世界大戦のあいだに工業化が進み、第二次世界大戦後は、アメリカとの経済的結びつきが強い。
- 022 複雑な人種
- 023 アメリカの国民の大多数は、イギリスなどヨーロッパからの移民の子孫である。
- 024 ほかに北部の大都市や南部の農業地域に多い黒人、西海岸に多い日本人・中国人、西部の荒れた居住地に多いインディアンなどさまざまな人種が住んでいる。
- 025 白人の有色人種に対する人種差別は根強く、アメリカの大きな社会問題である。
- 026 カナダもイギリス系の人々が中心であるが、おもに東部のケベック州に住むフランス系の人々がカナダの全人口の約30%をしめ、英語とフランス語を公用語としている。
- 027 カナダの産業
- 028 カナダは、アメリカとの経済的結びつきが強く、たがいに最大の貿易相手国である。
- 029 工業生産の3分の2以上がアメリカの資本のもとで行われており、五大湖北岸の重化学工業地帯もアメリカの五大湖周辺の工業地帯の広がりと同じように見られる。
- 030 広い国土の2分の1近くは森林で、近年タイガの開発が進み、トロントを中心に紙・パルプ工業が発展している。

- 031 太平洋沿岸の林業地帯は、日本にとっても重要な木材・パルプの供給地となっている。
- 032 北半球ではアメリカにつぐ重要な穀物の輸出国であり、また、太平洋・大西洋沿岸は、ともに世界的な大漁場で、水産物の多くは輸出されている。
- 033 アメリカ合衆国と日本
- 034 第二次世界大戦後、日本はアメリカを主とする連合国の占領下におかれた。
- 035 アメリカは、社会主義の国々との対立が深まるとともに、日本をはじめとするアジアなど各地に軍事基地をおいて、中国やソ連と対抗した。
- 036 日本は、講和に際してアメリカと安全保障条約を結ぶなど、政治・経済の関係をさらに深めた。
- 037 アメリカは、日本の最大の貿易相手国である。
- 038 また、アメリカにとっても、日本はカナダにつぐ貿易相手国である。
- 039 日本は、おもな食糧の多くをアメリカから輸入している。
- 040 したがって、アメリカの食料の輸出が少なくなれば、日本の食料の供給は大きな影響を受ける。
- 041 また、日本製品に対する輸入制限が行われれば、日本の工業は大きな販売先を失うことになる。
- 042 さらに、両国の企業や銀行の資本には、たがいに進出し合っているものがある。
- 043 このように、アメリカの経済の日本経済にあたえる影響は大きい。

11. 「西ヨーロッパ」

- 001 西ヨーロッパのあらまし
- 002 ユーラシア大陸の西端(せいたん)
- 003 西ヨーロッパは、大西洋につき出た半島のように、ユーラシア大陸の西端をしめている。
- 004 面積は日本(にほん)の10倍たらず、わずか365万平方kmである。
- 005 西ヨーロッパの自然
- 006 西ヨーロッパの中心部は、南西から北東に広がる平野で、ライン川など多くの川がほぼ北西に流れている。
- 007 その南がわはしだいに山がちになり、アルプスやピレネーなどのけわしい山脈がつらなって、地中海地方をへだてている。
- 008 地中海地方には火山があり、温泉もあって、しばしば地震もおきる。
- 009 平野の北がわには、氷河にけずられたゆるやかな丘や湖が多く、ノルウェーにはフィヨルドがみられる。
- 010 この地域の大部分は西岸海洋性気候で、緯度のわりに冬でも温和である。
- 011 降水量は日本より少ないが、一年中みられる。
- 012 しかし、東に向かうにつれてきびしい大陸性気候となる。
- 013 南部は地中海性気候で、夏は乾燥して暑い。
- 014 北の北極圏では、夏には太陽の沈まない白夜がつづき、冬には夜ばかりの日がつづく。
- 015 世界にさきがけて
- 016 西ヨーロッパのいくつかの国は、15,6世紀には世界各地に探険と植民を進め、交易を行った。
- 017 世界中から富を集め、輸出のための毛織物や武器などの工業が栄えた。
- 018 18世紀にイギリスから始まった産業革命は、資本主義のもとで近代的な工業を発展させた。

- 019 それとともに、植民地は西ヨーロッパの工業原料や食料の供給地とされ、また、製品の市場とされることになった。
- 020 こうして、西ヨーロッパは世界の政治・経済・文化を支配した。
- 021 そこに集められた富は、大英博物館やルーブル美術館にある世界の美術品などにしのばれ、ロンドンやパリは、今もなお世界の経済や文化の中心の一つになっている。
- 022 第一次・第二次世界大戦をへて、アジアやアフリカの多くの植民地は独立した。
- 023 しかし、イギリスの旧植民地がイギリス連邦をつくっているように、旧本国と旧植民地のあいだにはさまざまなつながりが残されている。
- 024 旧植民地の公用語は、英語やフランス語が多く、その指導者層には旧本国で教育を受ける人が多いなど、文化交流も密接である。
- 025 民族と国
- 026 西ヨーロッパには、およそ3億の人々が20あまりの国々に分かれて住んでいる。
- 027 北のゲルマン民族にはプロテスタント、南のラテン民族にはカトリックの信者が多い。
- 028 国境線は領土の相続や戦争でしばしば変更されたため、一民族が一つの国をつくっていないことが多い。
- 029 ドイツ人は、第二次世界大戦後に分かれたドイツ連邦共和国とドイツ民主共和国だけでなく、オーストリアやスイスにも住んでいる。
- 030 また、小さな国であるが、ベルギーでは2民族、スイスでは4民族が一つの国をつくっている。
- 031 このように、小さな国はほとんど民族と関係なく成立している。
- 032 小さな国の生きる道
- 033 小さな国には、ベルギーやオランダのように、ほかの国と同盟して国の安全をはかり、少ない人口とせまい面積による産業活動の不利を補っている国がある。

- 034 いっぽう、スイスやオーストリアは、中立化して国際間の対立をさ
け、しかもその中立をほかの国に認めさせている。
- 035 第二次世界大戦後、アメリカ合衆国とソ連の力が増大し、西ヨーロッパ
の世界における地位は低下した。
- 036 かつて、「列強」などとよばれたイギリスやフランス、強力な工業力
を持つ西ドイツも、世界的には人口・面積ともに大きな国ではない。
- 037 そこで、西ヨーロッパの国々は、政治・経済についてヨーロッパ共同体
のような地域的な協力体制をつくり、立場を強めようとしている。
- 038 伝統的な社会
- 039 西ヨーロッパには、伝統的な儀式や習慣が多く残されている。
- 040 イギリスなどには現在でも貴族制度があり、大革命をへたフランスで
も旧貴族がお城に住んでいるものさえある。
- 041 日常生活は、衣食住にわたり、階層によって習慣が大きくちがってい
る。
- 042 上流家庭の子供は、いっばんの家庭の子供と遊ぶことは少なく、パブ
リックスクールなどで指導者になるよう教育される。
- 043 いっぽう、労働者の子供で上級学校へ進学するものは少なく、早くから
社会に出て働く。
- 044 労働者の生活はつましく、週給制でボーナスはないため、大きな買
物のためには計画的に貯金をしなければならない。
- 045 また、いっばんの労働者と管理職との賃金の差は大きい。

12. 「春が来ると」

- A-1-001 春が 来ると 野でも 山でも 一面に きれいな 花が 咲く。
A-1-002 春が 来ると 野でも 山でも 一面に 花が きれいに 咲く。
A-1-003 春が 来ると 野でも 山でも 一面に 咲く 花が きれいだ。
A-1-004 春が 来ると 野でも 山でも きれいな 花が 一面に 咲く。
A-1-005 春が 来ると 野でも 山でも 花が 一面に きれいに 咲く。
A-1-006 春が 来ると 野でも 山でも 花が きれいに 一面に 咲く。
A-1-007 春が 来ると きれいな 花が 野でも 山でも 一面に 咲く。
A-1-008 春が 来ると 花が きれいに 野でも 山でも 一面に 咲く。
A-1-009 春が 来ると 花が 野でも 山でも きれいに 一面に 咲く。
A-1-010 春が 来ると 花が 野でも 山でも 一面に きれいに 咲く。
A-1-011 春が 来ると 野でも 山でも 一面に きれいに 花が 咲く。

- A-2-001 野でも 山でも 一面に きれいな 花が 咲く。
A-2-002 野でも 山でも 一面に 花が きれいに 咲く。
A-2-003 野でも 山でも 一面に 咲く 花が きれいだ。
A-2-004 野でも 山でも きれいな 花が 一面に 咲く。
A-2-005 野でも 山でも 花が 一面に きれいに 咲く。
A-2-006 野でも 山でも 花が きれいに 一面に 咲く。
A-2-007 きれいな 花が 野でも 山でも 一面に 咲く。
A-2-008 花が きれいに 野でも 山でも 一面に 咲く。
A-2-009 花が 野でも 山でも きれいに 一面に 咲く。
A-2-010 花が 野でも 山でも 一面に きれいに 咲く。
A-2-011 野でも 山でも 一面に きれいに 花が 咲く。

- B-1-001 一面に きれいな 花が 咲く。
B-1-002 一面に 花が きれいに 咲く。
B-1-003 一面に 咲く 花が きれいだ。
B-1-004 きれいな 花が 一面に 咲く。

B-1-005 花が 一面に きれいに 咲く。

B-1-006 花が きれいに 一面に 咲く。

B-1-007 一面に きれいに 花が 咲く。

B-2-001 野でも 山でも きれいな 花が 咲く。

B-2-002 野でも 山でも 花が きれいに 咲く。

B-2-003 野でも 山でも 咲く 花が きれいだ。

B-2-004 きれいな 花が 野でも 山でも 咲く。

B-2-005 花が きれいに 野でも 山でも 咲く。

B-2-006 花が 野でも 山でも きれいに 咲く。

B-2-007 野でも 山でも きれいに 花が 咲く。

B-3-001 野でも 山でも 一面に 花が 咲く。

B-3-002 野でも 山でも 一面に 咲く 花だ。

B-3-003 野でも 山でも 花が 一面に 咲く。

B-3-004 花が 野でも 山でも 一面に 咲く。

B-3-005 野でも 山でも 一面に 花が 咲く。

C-1-001 一面に 花が 咲く。

C-1-002 一面に 咲く 花だ。

C-1-003 花が 一面に 咲く。

C-2-001 野でも 山でも 花が 咲く。

C-2-002 野でも 山でも 咲く 花だ。

C-2-003 花が 野でも 山でも 咲く。

C-3-001 きれいな 花が 咲く。

C-3-002 花が きれいに 咲く。

C-3-003 咲く 花が きれいだ。

C-3-004 きれいに 花が 咲く。

D-001 春が 来ると 咲く。

D-002 野でも 山でも 咲く。

D-003 一面に 咲く。

D-004 きれいに 咲く。

D-005 花が 咲く。

D-006 咲く 花だ。

E-001 野でも

E-002 花が

E-003 きれいに

E-004 山でも

E-005 咲く

E-006 きれいな

E-007 春が来ると

E-008 一面に

E-009 来ると

E-010 野でも山でも

E-011 春が

E-012 大きな

E-013 咲くでしょう

E-014 黄色い

E-015 来れば

E-016 咲きます

E-017 咲きました

E-018 春が来れば

E-019 小さな

- F-001 春が 来ると 野でも 山でも 一面に きれいな 花が 咲く。
- F-002 春が 来れば 野でも 山でも 一面に きれいな 花が 咲く。
- F-003 春が 来ると 野でも 山でも 一面に 大きな 花が 咲く。
- F-004 春が 来ると 野でも 山でも 一面に 黄色い 花が 咲く。
- F-005 春が 来ると 野でも 山でも 一面に 小さな 花が 咲く。
- F-006 春が 来ると 野でも 山でも 一面に きれいな 花が 咲きま
す。
- F-007 春が 来ると 野でも 山でも 一面に きれいな 花が 咲くで
しょう。
- F-008 春が 来ると 野でも 山でも 一面に きれいな 花が 咲きまし
た。

- G-001 ハ ル ガ ク ル ト ノ デ モ ヤ マ デ モ イ チ メ
ン ニ キ レ イ ナ ハ ナ ガ サ ク。
- G-002 ハ ル ガ ク ル ト ノ デ モ ヤ マ デ モ イ チ メ ン ニ キ
レ イ ナ ハ ナ ガ サ ク。
- G-003 ハ ル ガ ク ル ト ノ デ モ ヤ マ デ モ イ チ メ ン ニ キ レ イ ナ ハ ナ ガ
サ ク。
- G-004 ハ ル ガ ク ル ト ノ デ モ ヤ マ デ モ イ チ メ ン ニ キ レ イ ナ ハ ナ ガ サ
ク。
- G-005 ハ ル ガ ク ル ト ノ デ モ ヤ マ デ モ イ チ メ ン ニ キ レ イ ナ ハ ナ ガ サ ク。
- G-006 春が 来ると 野でも 山でも イ チ メ ン ニ きれいな 花
が 咲く。
- G-007 野でも 山でも イ チ メ ン ニ きれいな 花が 咲く。
- G-008 イ チ メ ン ニ 咲く。
- G-009 イ チ メ ン ニ きれいな 花が 咲く。
- G-010 イ チ メ ン ニ 花が 咲く。
- G-011 きれいな 花が イ チ メ ン ニ 咲く。
- G-012 花が イ チ メ ン ニ 咲く。

G-013 ノ デ モ
G-014 ハ ナ ガ
G-015 キ レ イ ニ
G-016 ヤ マ デ モ
G-017 サ ク
G-018 キ レ イ ナ
G-019 イ チ メ ン ニ
G-020 ハ ル ガ ク ル ト
G-021 ク ル ト
G-022 ハ ル ガ
G-023 オ オ キ ナ
G-024 ノ デ モ ヤ マ デ モ
G-025 ク レ バ
G-026 サ キ マ ス
G-027 キ イ ロ イ
G-028 サ ク デ シ ョ ウ
G-029 チ イ サ ナ
G-030 サ キ マ シ タ
G-031 ハ ル ガ ク レ バ

13. 「文セット1」

- 001 午後から科白(せりふ)の打合せをしましょう。
- 002 出掛けようとした時、お母さんに雑用を頼まれたので膨(ふく)れたら叱られた。
- 003 今頃、故郷(こきょう)では、桜が美しいだろう。
- 004 医者 of 診断だと、正月までに退院するのは絶望的だ。
- 005 この建物から出たければ、奥の階段を上らないといけません。
- 006 梅雨(つゆ)に洗濯物を乾かすのは大変だ。
- 007 つい最近まで紅葉していた葉が落ちているのを見てがっかりした。
- 008 記念切手は発売されて間もなく売り切れてしまいました。
- 009 欠陥商品だったが安かっただけによく売れた。
- 010 人間を人種などで差別しようとする事が間違っている。
- 011 小屋までの薄暗い峠を歩くたびに鬼などが出ないかと不安になる。
- 012 犯人からの要求を素直に飲み込んだのでは向こうの思う壺だ。
- 013 忘れ物をするのが君の悪い癖だ。
- 014 口ではうまく言い表せないがあれは奇妙な現象だった。
- 015 独身時代は気楽だったと愚痴をこぼす。
- 016 猫はネズミやスズメなどの生き物を狙う。
- 017 彼女は恵まれた環境の中でそだてられて幸福な毎日を送っている。
- 018 彼の翻訳には極端な表現が多いので改めさせた。
- 019 あれもこれもと悩んでいるうちに夕方になった。
- 020 去年よりも成績が落ちたのは怠けすぎたからだ。
- 021 転んだだけで骨を折るとは情けない。
- 022 彼がなぜあのように言ったのか私には理解できなかった。
- 023 三時間待ったが犯人は現れなかった。
- 024 いつもこわい父だが今日は妙に優しい。
- 025 外国への郵便物は日にちがかかる。
- 026 風邪の時は卵酒などを飲んで寝るのが一番だ。
- 027 会社での彼の評判は良い。

- 028 明後日位迄(あさってぐらいまで)にはなんとか論文を完成させてしまいたい。
- 029 誰にも喋ってはいけないよと言われるとよけい喋りたくなる。
- 030 雨さえ降らなければ遠足に行けたらろうに。
- 031 ニュースとしての価値は低い。
- 032 夏休みや冬休みなどに長い休暇を取って海外旅行に行く人が最近増えている。
- 033 今月からは彼女に商品の検査を手伝ってもらう。
- 034 展示会ではコートだけでなく靴や手袋なども展示したい。
- 035 会合への出席を依頼されたがその日は都合が悪いので断わった。
- 036 父を呼ぶまではここに居てください。
- 037 規定の作業をしたか覚えていますか。
- 038 癖などというものはすぐに改まるものではない。
- 039 頑固なため孤立しないか心配です。
- 040 駅に急ぎましたが電車に乗れませんでした。
- 041 楽しそうに演奏していたのが彼女です。
- 042 友達に先生が来た都合をしたのだが気付いてくれなかった。
- 043 母ばかりか父にまで叱られた。
- 044 人間の記憶などはあてにならないものです。
- 045 展示は今日で終わりですから会場は一番混雑するでしょう。
- 046 まさか彼に裏切られるとは思わなかった。
- 047 よく喧嘩の仲裁を頼まれるが自信がない。
- 048 昨夜雨が降ったのだろうか起きてみると庭が濡れていた。
- 049 昨日(きのう)はせっかくの休みだったが天気が悪く一日家にいた。
- 050 彼と約束したのに会えなかったのです。
- 051 その製品が売れるかどうかは今の所まったく不明です。
- 052 その説を正しいと認めざるをえない。
- 053 彼の説明は丁寧で正確でした。
- 054 私の意見は間違っているでしょうか。
- 055 ほんやり見ていないで少しは手伝いなさい。

- 056 それの問題だというのは今更説明するまでもないでしょう。
- 057 あの子が迷子になったというのは信じられない。
- 058 彼は学生の頃から雪山に夢中なのだ。
- 059 眠れないので明け方まで本を読んだ。
- 060 将来どのような人になりたいか作文しなさい。
- 061 目標の大学に合格できるかどうかの微妙なところですよ。
- 062 近頃街頭での品物の購入勧誘が目立ちますが被害の申告に基づくものだけでも断われない状態、或は取り消せずに支払いを催促される事態に話が進んだ例がありました。
- 063 大臣はその条約を成立させるべきだと主張した。
- 064 委員の候補は火曜に掲示されます。
- 065 明日(あす)の火災訓練ですが都合で木曜に変更したいと思います。
- 066 提案されたスポーツ施設が本当に住民の望むものかどうか慎重に検討すべきである。
- 067 遊び終わればさっさと片付けるという習慣を息子におしえる。
- 068 手紙では風邪で自宅にて療養とあった。
- 069 皆(みんな)で考えねば正しい結論はでない。
- 070 甘やかすだけの育児は子の自立を妨げる。
- 071 彼と彼女とを仲直りさせるのは容易ではなかった。
- 072 彼女が頑張って編んだセーターだったが残念ながら彼には少し小さすぎた。
- 073 今日は水曜ですからお茶を習う日です。
- 074 足元を照らすのは月明りだけなのです。
- 075 あの選手が地区大会まで出られたのは基礎練習を積んだからです。
- 076 眼鏡(めがね)が無くなったのもそそっかしいからだ。
- 077 海上が荒れたので、妻は漁師の無事だけを祈った。
- 078 スパイの任務は、明方迄に敵の心臓部分と考えられる橋を破壊することだ。
- 079 大学から合格通知が届いたようだ。

- 080 国内での石油の生産は無いに等しく、そのほとんどが輸入に頼らなくてはならないのが現状です。
- 081 古典だけが苦手な科目です。
- 082 屋根の瓦が飛ばないように頑丈に補強する。
- 083 主人に虐待されたのを根に持って復讐する。
- 084 花にリボンを結びますか。
- 085 彼らは申し合わせたように職場を休んだ。
- 086 私達は子供から多くの事実をおしえられます。
- 087 野菜を炒めますからお皿を用意して下さい。
- 088 実力が発揮されればいい記録が出るだろう。
- 089 崖なのに海へ飛び込むのはむちゃだ。
- 090 池の近くに綺麗な草花が生えていませんか。
- 091 顔が綺麗だったとしても幸せを掴(つか)めるとは限りません。
- 092 古代の猿の骨格などから人類の進化が伺える。
- 093 ちょっと酒を加えるだけで、この料理は凄(すご)く美味しくなりますよ。
- 094 まさかこの話が本当だったとは。
- 095 彼は我侷(わがご)なので嫌われても仕方がない。
- 096 ここは鳥達には最高の環境なのだが都市化の波はもうそこまで押し寄せている。
- 097 彼女らは根性が有るので少々搾(しぼ)られようが挫(くじ)けない。
- 098 これだけはどうしても止めて貰(もら)いたいですね。
- 099 そんなに急がなくても十分間に合いますよ。
- 100 今更言い直そうがもう遅い。
- 101 外国へは行けなくても何処(どこ)か遠くに行きたい。
- 102 私の牧場の牛や馬は、餌(えさ)が良かったのかどんどん大きくなった。
- 103 彼の家近くには新しい駅が出来たらしいが、通勤の便は良くならないようだ。
- 104 そのアイデアはとてもすてきですね。

- 105 今日はずっとここに居りますので、いつ来てくださっても構いません。
- 106 あなたほどの人がこんな田舎に居るのはもったいない。
- 107 これはとても珍しい物で、なかなか見つける事が出来ません。
- 108 ここに、あの人が座っていたような気がします。
- 109 彼女に負けたのでは彼の立場が有りません。
- 110 彼は貧しいながらも努力して大学まで行き優秀な成績で卒業した。
- 111 たとえどんな理由だろうが暴力をふるうのは良くないことです。
- 112 今日はとても疲れたので、ゆっくり風呂にも入りたいし早く寝たいからこれで帰ります。
- 113 彼女は若いながらも物事の道理をわきまえている。
- 114 月日が立つのは早いもので、私が入社してからもう3年になる。
- 115 この店の商品は高価な物ばかりで、とても手が出ない。
- 116 この生活の知恵は、親から子へと伝えられてきた。
- 117 店は探せたが欲しい商品はもう売り切れていた。
- 118 病気が治ったから外に出られるようになった。
- 119 この強い雨でも堤防は大丈夫なのだろうか。
- 120 この村は昔は大そう栄えていたのだが、今は住む人も居なくなった。
- 121 雨に濡れるので傘を持って行きなさい。
- 122 君に是非見せたい物がある。
- 123 噂では外国で結婚されたとか聞いています。
- 124 彼女が嫌いなのは彼の曖昧(あいまい)なところだ。
- 125 何故(なぜ)話してくれなかったのかと責められた。
- 126 入院するべきかどうかは医者が決めることだ。
- 127 今日は天気が悪くて見えませんが晴れると美しい山々が見渡せます。
- 128 彼女は美しく見られようと努力した。
- 129 あの山なら君にも登れるに違いない。
- 130 病気が治っていないのだから外で遊ばせたりしてはいけない。
- 131 わかったからといってすぐ出来るものではない。

- 132 合格発表を目の前にして眠れぬ夜をすごした。
- 133 温泉が余りに気持ち良かったのでのぼせる位まで入っていた。
- 134 ちょっと食べただけなのに太った。
- 135 その少年はたびたび注意されたにもかかわらず一向に反省の色を見せなかった。
- 136 私の人生なのだから自由にさせて欲しい。
- 137 正午までには小包を届けますと連絡が有りました。
- 138 来週にでもアルバイトを始めよう。
- 139 昨日(きのう)児童が誘拐されたばかりか、死体で見つかったとの報道が有りました。
- 140 警察では児童が逆らった為、被害を受けたのだらうと見ているようです。
- 141 その先生が自分の命を捨ててまで、湖で溺れている甥を助けてくれました。
- 142 姪は結婚を約束していた相手に裏切られて悲しんだ。
- 143 このお菓子は私のと思って大事に残しておいたのに妹に食べられてしまった。
- 144 素晴らしい眺めのアパートに移るそうだが羨ましい限りだ。
- 145 親の財産ばかりを当てにすべきではないだろう。
- 146 鉱物の産出量が減っただけで鉱山が閉鎖された。
- 147 おじいさんは犬がとてもかわいかったようで、朝晩の散歩を何よりの楽しみとしていた。
- 148 彼女は試験に合格する自信があっただけに、落ちたときの失望ぶりは見るにたえなかった。
- 149 風呂の湯はどれくらいまで入れたらいいですか。
- 150 旅行に行く前に仕事を終えるべきではないでしょうか。
- 151 ここから見る朝焼けはとても綺麗ですよ。
- 152 蕎麦(そば)は音を立てて食べるのが一番おいしいのだと言う人もいます。
- 153 貴方(あなた)までがその様なことを言ってどうするのですか。

- 154 貴方(あなた)は青よりも赤が似合いますよ。
- 155 もう済んでしまったのだから後悔しても始まらない。
- 156 技術の発達は素晴らしく、未来には気軽に宇宙へも行けるようになるかも知れない。
- 157 彼と彼女とが喧嘩をしたのは些細な事が原因です。
- 158 友達から近所に引越しして来たとの知らせがあった。
- 159 生まれたばかりの赤ちゃんでさえ母親の声が解る。
- 160 道端で叔母さんが掘ったばかりの芋を売っていた。
- 161 ズボンがすぐに破れるのは君の履き方が乱暴だからです。
- 162 この問題の提出が遅れたのは風邪を引いて寝込んでしまったからです。
- 163 子供でさえもそれが悪い事だと解っているのに。
- 164 叔父さんは息子を将来、弁護士にさせようとしている。
- 165 この絵は余り良い出来ではなかったが、評判は高かった。
- 166 品物は良かったのですが余り売れませんでした。
- 167 キャンプやハイキングなどでは気の合った仲間と楽しい時間を過ごしたい。
- 168 財布を盗む所を老人に見付けられたすりは、暴れながら走って逃げた。
- 169 従兄(いとこ)は単位が足らずに落第したらしく元気がありませんでした。
- 170 誰もが高い税金に不満を漏らしている。
- 171 変化のない作業は、くたびれるばかりです。
- 172 恋の悩みは親友にしか相談できなかった。
- 173 今年の冬は暖かいようですが気温は去年と同じくらいです。
- 174 私一人では娘を高校まで行かせるのがやっとだった。
- 175 空港付近の道路の渋滞は、もっと改善されなければいけない。
- 176 憲法では個人の人権を保証してます。
- 177 私が怒ったのは君が嘘をついたからだ。
- 178 今更知らなかったと言われても困る。

- 179 宛名を書き忘れたので、はがきが戻ってきたよ。
- 180 彼女がモデルになったとは意外だな。
- 181 近所の人たちと協力して泥棒をつかまえましたよ。
- 182 神社の梅の花が綺麗だね。
- 183 あなたの結婚式には喜んで出席します。
- 184 自分に与えられた仕事には責任を持つべきだろう。
- 185 どんな場合でも暴力をふるうのは許せない。
- 186 決めるのは、もう少し考えてからでも遅くない。
- 187 昨日(きのう)は学校が休みだったので友達と映画を見に行った。
- 188 成績が上がらないのは日頃の努力が足りないからだ。
- 189 駅で叔父を見掛けたのだが、叔父の足は早くて追い付けなかった。
- 190 彼には姉のほかに妹が二人います。
- 191 随分疲れているようだが体は大丈夫かい。
- 192 甘やかすばかりではなく、時には厳しくなければいけない。
- 193 こちらだと伺いましたので参りました。
- 194 席に戻られましたらお電話を下さい。
- 195 暦の上では三月から五月までを春と言います。
- 196 お城みたいな立派な家に住みたい。
- 197 今日(きょう)、貰ったばかりの給料で赤い靴を買った。
- 198 そんな無理な注文には従えませんよ。
- 199 閑(のどか)な山村の風景は写真でしか見たことがない。
- 200 素直に謝ったので叱られずに済んだ。
- 201 景品の交換は一月までで打ち切りました。
- 202 その日に手紙が届かなければ、彼女は彼に会えなかったでしょう。
- 203 集合場所に誰もいないということは、時間を間違えたのかもしれない。
- 204 受験に失敗して、さぞかし残念だったろう。
- 205 教室の鍵を壊したのは君たちなのか。
- 206 そこまで言われては黙ってられない。

- 207 もう時間もないことですし早く決めましょう。
- 208 誰もが答えられるように、やさしい問題を選んだ。
- 209 彼に邪魔されたので、その計画は失敗した。
- 210 普通なら二時間で行けるのだろうが今日は四時間もかかった。
- 211 今でもやめられるが、もう少し続けたい。
- 212 人間は死ぬとどうなるのでしょうか。
- 213 僕は暇なんだ。
- 214 この薬は良くきくのよ。
- 215 彼は勇敢にも、愛する人のために戦ったのだった。

14. 「無意味単語」

- 001 これは あてあべり です。
002 これは あていべり です。
003 これは あてうべり です。
004 これは あてえべり です。
005 これは あておべり です。
006 これは あてかべり です。
007 これは あてきべり です。
008 これは あてくべり です。
009 これは あてけべり です。
010 これは あてこべり です。
011 これは あてさべり です。
012 これは あてしべり です。
013 これは あてすべり です。
014 これは あてせべり です。
015 これは あてそべり です。
016 これは あてたべり です。
017 これは あてちべり です。
018 これは あてつべり です。
019 これは あててべり です。
020 これは あてとべり です。
021 これは あてなべり です。
022 これは あてにべり です。
023 これは あてぬべり です。
024 これは あてねべり です。
025 これは あてのべり です。
026 これは あてはべり です。
027 これは あてひべり です。
028 これは あてふべり です。

- 029 これは あてへべり です。
030 これは あてほべり です。
031 これは あてまべり です。
032 これは あてみべり です。
033 これは あてむべり です。
034 これは あてめべり です。
035 これは あてもべり です。
036 これは あてやべり です。
037 これは あてゆべり です。
038 これは あてよべり です。
039 これは あてらべり です。
040 これは あてりべり です。
041 これは あてるべり です。
042 これは あてれべり です。
043 これは あてろべり です。
044 これは あてわべり です。
045 これは あてがべり です。
046 これは あてぎべり です。
047 これは あてぐべり です。
048 これは あてげべり です。
049 これは あてごべり です。
050 これは あてざべり です。
051 これは あてじべり です。
052 これは あてずべり です。
053 これは あてぜべり です。
054 これは あてぞべり です。
055 これは あてだべり です。
056 これは あてでべり です。
057 これは あてどべり です。

- 058 これは あてばべり です。
059 これは あてびべり です。
060 これは あてぶべり です。
061 これは あてべべり です。
062 これは あてほべり です。
063 これは あてばべり です。
064 これは あてびべり です。
065 これは あてぶべり です。
066 これは あてぺべり です。
067 これは あてほべり です。
068 これは あてきゃべり です。
069 これは あてきゅべり です。
070 これは あてきよべり です。
071 これは あてしゃべり です。
072 これは あてしゅべり です。
073 これは あてしょべり です。
074 これは あてちゃべり です。
075 これは あてちゅべり です。
076 これは あてちょべり です。
077 これは あてにゃべり です。
078 これは あてにゅべり です。
079 これは あてによべり です。
080 これは あてひゃべり です。
081 これは あてひゅべり です。
082 これは あてひよべり です。
083 これは あてみゃべり です。
084 これは あてみゅべり です。
085 これは あてみよべり です。
086 これは あてりゃべり です。

- 087 これは あてりゅべり です。
088 これは あてりよべり です。
089 これは あてぎゃべり です。
090 これは あてぎゅべり です。
091 これは あてぎよべり です。
092 これは あてじゃべり です。
093 これは あてじゅべり です。
094 これは あてじよべり です。
095 これは あてびゃべり です。
096 これは あてびゅべり です。
097 これは あてびよべり です。
098 これは あてびゃべり です。
099 これは あてびゅべり です。
100 これは あてびよべり です。
101 これは あてんべり です。

<鼻濁音発声>

- 102 これは あてがべり です。
103 これは あてぎべり です。
104 これは あてぐべり です。
105 これは あてげべり です。
106 これは あてごべり です。
107 これは あてぎゃべり です。
108 これは あてぎゅべり です。
109 これは あてぎよべり です。

15. 「単音節101」

001	みゆ
002	せ
003	れ
004	も
005	びゃ
006	ひ
007	や
008	ゆ
009	びよ
010	な
011	ぶ
012	さ
013	ちゃ
014	ぼ
015	ぶ
016	す
017	だ
018	びゃ
019	ちよ
020	よ
021	ね
022	りゃ
023	で
024	ず
025	びゆ
026	ぜ
027	ぺ
028	げ

029 ほ
030 の
031 ちゆ
032 と
033 る
034 て
035 ぎよ
036 びよ
037 ぎゃ
038 た
039 み
040 じゃ
041 し
042 じ
043 みよ
044 か
045 きゃ
046 によ
047 ら
048 にゆ
049 そ
050 ば
051 ど
052 お
053 め
054 ぞ
055 りゆ
056 い
057 ざ

058 り
059 に
060 ぎ
061 じょ
062 べ
063 じゅ
064 ぱ
065 しゅ
066 び
067 こ
068 ひゅ
069 ち
070 え
071 ひょ
072 は
073 つ
074 ほ
075 びゅ
076 ひゃ
077 う
078 が
079 ん
080 きゅ
081 く
082 しゃ
083 みゃ
084 あ
085 しよ
086 ぬ

087 わ
088 りよ
089 き
090 へ
091 ぐ
092 び
093 ご
094 ぎゆ
095 む
096 きよ
097 ろ
098 け
099 ま
100 ふ
101 にゃ

16. 「単語セット1(CVb)」

001	さかば	(酒場)
002	うきほり	(浮き彫り)
003	とくべつ	(特別)
004	さけび	(叫び)
005	はこぶね	(箱舟)
006	あさぶろ	(朝風呂)
007	むしほし	(虫干し)
008	むすび	(結び)
009	みせば	(見せ場)
010	あそび	(遊び)
011	いたぶき	(板葺き)
012	にちほつ	(日没)
013	ねつべん	(熱弁)
014	すてばち	(捨てばち)
015	そとびらき	(外開き)
016	よなべ	(夜なべ)
017	べにばな	(紅花)
018	うぬほれ	(自惚れ)
019	たねび	(種火)
020	しのぶえ	(しの笛)
021	こはば	(小幅)
022	じひびき	(地響き)
023	そふぼ	(祖父母)
024	やぶへび	(やぶ蛇)
025	わかてほぼ	(若手保母)
026	やまびらき	(山開き)
027	うみべ	(海辺)
028	ゴムばり	(ゴム張り)

029	こめびつ	(米びつ)
030	ともびき	(友引)
031	はやぶさ	(隼)
032	こゆび	(小指)
033	つよび	(強火)
034	からぶり	(空振り)
035	はりぼて	(張りぼて)
036	まるほし	(丸干し)
037	ぬればいろ	(ぬれ羽色)
038	そろばん	(算盤)
039	うわべ	(上辺)
040	ながばかま	(長袴)
041	ねぎぼうず	(葱坊主)
042	タグボート	(タグボート)
043	あげぶた	(上げ蓋)
044	まごびき	(孫引き)
045	ひざほね	(膝骨)
046	きじばと	(雉鳩)
047	みずべ	(水辺)
048	まぜぼう	(混ぜ棒)
049	みぞぶた	(溝蓋)
050	えだぶり	(枝振り)
051	ふでばこ	(筆箱)
052	のどほとけ	(喉仏)
053	しばぶえ	(しば笛)
054	たびびと	(旅人)
055	だいぶぶん	(大部分)
056	のべばらい	(延べ払い)
057	おうぼばこ	(応募箱)

058	さっぱふね	(さっぱ船)
059	てんぴほし	(天日干し)
060	てんぷぶん	(添付文)
061	もんぺばき	(もんぺばき)
062	ルポばんぐみ	(ルポ番組)

17. 「単語セット2(CVg)」

001	さかぐら	(酒蔵)
002	おきがさ	(置き傘)
003	ばくげき	(爆撃)
004	ひげぎわ	(引け際)
005	にこごり	(煮こごり)
006	ねさがり	(値下がり)
007	としごろ	(年ごろ)
008	うすぎ	(薄着)
009	よせぎ	(寄せ木)
010	たそがれ	(黄昏)
011	わたぐも	(綿雲)
012	もちごめ	(もち米)
013	あつぎ	(厚着)
014	すてがね	(捨て金)
015	いとぐるま	(糸車)
016	わなげ	(輪投げ)
017	わにがわ	(鰐皮)
018	くぬぎ	(くぬぎ)
019	ほねぐみ	(骨組み)
020	ものがたり	(物語)
021	おはぐろ	(お歯黒)
022	おひがら	(お日柄)
023	とらふぐ	(虎河豚)
024	にのへがわ	(二戸側)
025	かほご	(過保護)
026	こまげた	(駒下駄)
027	かみがた	(髪型)
028	こむぎこ	(小麦粉)

029	もめごと	(もめ事)
030	よもぎ	(よもぎ)
031	みやげ	(土産)
032	ふゆがれ	(冬枯れ)
033	つよごし	(強腰)
034	うらぐち	(裏口)
035	とりごや	(鳥小屋)
036	まるごと	(丸ごと)
037	ふれがき	(触れ書き)
038	くろがね	(くろがね)
039	うわぎ	(上着)
040	ながぐつ	(長靴)
041	るいぎご	(類義語)
042	きぐがかり	(器具係)
043	すげがさ	(菅笠)
044	によごがしま	(女護島)
045	かざぐるま	(風車)
046	おじぎ	(お辞儀)
047	みずがめ	(水がめ)
048	かぜぐすり	(風邪薬)
049	えぞぎく	(蝦夷菊)
050	ただごと	(只事)
051	うでぐみ	(腕組み)
052	やどがえ	(宿替え)
053	うばぐるま	(乳母車)
054	よびごえ	(呼び声)
055	うぶげ	(産毛)
056	かべがみ	(壁紙)
057	つぼがり	(坪刈り)

058	ひっぱがす	(引っぱがす)
059	べんぴぎみ	(便秘気味)
060	ループがた	(ループ型)
061	しっぺがえし	(しっぺ返し)
062	さんぽがてら	(散歩がてら)

18. 「単語セット3(CVk)」

001	あかかぶ	(赤かぶ)
002	ききかん	(危機感)
003	ふくかげん	(服加減)
004	やけこげ	(焼け焦げ)
005	いこく	(異国)
006	でさき	(出先)
007	ふしくれ	(節くれ)
008	うすくち	(薄口)
009	こせき	(戸籍)
010	だそく	(蛇足)
011	たたかい	(戦い)
012	ふちかがり	(縁かがり)
013	きつけ	(着付け)
014	たてかえ	(立て替え)
015	ほとけ	(仏)
016	よなか	(夜中)
017	かにく	(果肉)
018	こぬか	(小糠)
019	すねかじり	(すねかじり)
020	ものかき	(物書き)
021	よはく	(余白)
022	かぜひき	(風邪引き)
023	よふかし	(夜更かし)
024	いへき	(胃壁)
025	とうほく	(東北)
026	かまくら	(鎌倉)
027	もみけし	(もみ消し)
028	でむかえ	(出迎え)

029	しめきり	(締め切り)
030	おもかげ	(面影)
031	のやき	(野焼き)
032	こゆき	(小雪)
033	まよこ	(真横)
034	うらかた	(裏方)
035	とりくみ	(取組)
036	なるこ	(鳴子)
037	いれかえ	(入れ替え)
038	くろくま	(黒熊)
039	しわけ	(仕分け)
040	てがき	(手書き)
041	しぎかい	(市議会)
042	まるぐけ	(丸ぐけ)
043	にげかくれ	(逃げ隠れ)
044	ねごこち	(寝心地)
045	かざかみ	(風上)
046	さじき	(棧敷)
047	みずくみ	(水汲み)
048	まぜこぜ	(混ぜこぜ)
049	せぞく	(世俗)
050	こだから	(子宝)
051	うでくらべ	(腕比べ)
052	やどかり	(宿借り)
053	たばこ	(煙草)
054	ゆびきり	(指切り)
055	かぶき	(歌舞伎)
056	あべこべ	(あべこべ)
057	わぼく	(和睦)

058	きんぱく	(緊迫)
059	きんぴか	(金ぴか)
060	いっぷく	(一服)
061	かんぺき	(完璧)
062	しっぽく	(しっぽく)

19. 「単語セット4(CVs)」

001	でかせぎ	(出稼ぎ)
002	しきさい	(色彩)
003	ふくすう	(複数)
004	かけそば	(掛け蕎麦)
005	ほこさき	(矛先)
006	あさせ	(浅瀬)
007	さしさわり	(差し障り)
008	おすそわけ	(おすそ分け)
009	みせさき	(店先)
010	すそさばき	(裾さばき)
011	かたすみ	(片隅)
012	くちさき	(口先)
013	つつそで	(筒袖)
014	だてすがた	(だて姿)
015	ことさら	(殊更)
016	はなすじ	(鼻筋)
017	しにせ	(老舗)
018	きぬさや	(絹さや)
019	あねさま	(姉様)
020	ものさし	(物差し)
021	さしはさむ	(差し挟む)
022	おひさま	(お日様)
023	かふそく	(過不足)
024	おへそ	(おへそ)
025	のみほす	(飲み干す)
026	つまさき	(つま先)
027	でみせ	(出店)
028	おむすび	(おむすび)

029	とめそで	(留袖)
030	おもさ	(重さ)
031	きやせ	(着やせ)
032	ふゆさく	(冬作)
033	およそ	(およそ)
034	からすみ	(からすみ)
035	かりそめ	(かりそめ)
036	ざるそば	(ざる蕎麦)
037	はれすがた	(晴れ姿)
038	おろそか	(おろそか)
039	にわさき	(庭先)
040	ながそで	(長袖)
041	なぎさ	(渚)
042	めぐすり	(目薬)
043	あげさげ	(上げ下げ)
044	しごせん	(子午線)
045	とざす	(閉ざす)
046	あじさい	(紫陽花)
047	みずすまし	(水すまし)
048	かぜさだめ	(風定め)
049	メゾソプラノ	(メゾソプラノ)
050	てだすけ	(手助け)
051	ふでさき	(筆先)
052	やどさがり	(宿下がり)
053	つばさ	(翼)
054	くびすじ	(首筋)
055	やぶさめ	(流鏝馬)
056	なきべそ	(泣きべそ)
057	のぼせ	(のぼせ)

058	バイパス	(バイパス)
059	タイピスト	(タイピスト)
060	つつぶす	(突っ伏す)
061	タペストリー	(タペストリー)
062	けんぽせいど	(健保制度)

20. 「単語セット5(CVm)」

001	わかもの	(若者)
002	ときめき	(ときめき)
003	どくみ	(毒味)
004	わけまえ	(分け前)
005	よこむき	(横向き)
006	くさむら	(草むら)
007	あしもと	(足もと)
008	むすめ	(娘)
009	いせまいり	(伊勢参り)
010	ほそみ	(細身)
011	かたまり	(塊)
012	かちめ	(勝ち目)
013	はつもの	(初物)
014	たてまえ	(建て前)
015	ひとみ	(瞳)
016	はなむけ	(はなむけ)
017	たにま	(谷間)
018	きぬもの	(絹物)
019	いねむり	(居眠り)
020	ちのみご	(乳飲み子)
021	ははもの	(母物)
022	おひめさま	(お姫さま)
023	つちふまず	(土踏まず)
024	ボヘミアン	(ボヘミアン)
025	マホメッド	(マホメッド)
026	きまま	(気まま)
027	あみもと	(網元)
028	スキムミルク	(スキムミルク)

029	うめみ	(梅見)
030	おもみ	(重み)
031	あやめ	(あやめ)
032	ふゆもの	(冬物)
033	こよみ	(暦)
034	ひらめき	(閃き)
035	わりまし	(割り増し)
036	するめ	(するめ)
037	はれもの	(はれ物)
038	しろみそ	(白味噌)
039	たわむれ	(戯れ)
040	てがみ	(手紙)
041	つぎめ	(継ぎ目)
042	こぐま	(小熊)
043	あげもの	(揚げ物)
044	まごむすめ	(孫娘)
045	ねざめ	(寝覚め)
046	しじみ	(蜆)
047	ひずみ	(歪み)
048	てぜま	(手狭)
049	でぞめ	(出初め)
050	けだもの	(獣)
051	うでまえ	(腕前)
052	よどみ	(淀み)
053	つばめ	(燕)
054	くびまき	(首巻き)
055	ねぶみ	(値踏み)
056	なべもの	(鍋物)
057	つぼみ	(蕾)

- | | | |
|-----|--------|-------|
| 058 | はんばもの | (半端物) |
| 059 | たっぴみさき | (竜飛岬) |
| 060 | はんぷまえ | (頒布前) |

21. 「単語セット6」

001	にもつ	(荷物)
002	スーツケース	(スーツケース)
003	かばん	(鞆)
004	ぜんぶ	(全部)
005	なかみ	(中身)
006	しょせきるい	(書籍類)
007	ざっし	(雑誌)
008	けんきゅう	(研究)
009	べっそう	(別送)
010	しょるい	(書類)
011	おわり	(終わり)
012	いちまい	(一枚)
013	きんきより	(近距離)
014	りょうがえき	(両替機)
015	アメリカ	(アメリカ)
016	こうくうびん	(航空便)
017	そくたつ	(速達)
018	こづつみ	(小包)
019	ふなびん	(船便)
020	きって	(切手)

22. 「会話セット1」

<通関手続き> A-旅行者、B-税関職員

- 001 (B) 荷物はこれだけですか。
- 002 (A) はい。このスーツケースと航空かばん、それにあの段ボール箱です。
- 003 (B) 酒やたばこは。
- 004 (A) ありません。
- 005 (B) それではかばんを全部あけてください。その箱のなかみは何ですか。
- 006 (A) 全部書籍類です。本と雑誌ばかりです。
- 007 (B) 商品見本はありませんね。
- 008 (A) ありません。研究のために来たんですから。
- 009 (B) 別送の荷物はありますか。
- 010 (A) あります。この書類にあるとおりです。
- 011 (B) はい。よろしい。おわりです。

23. 「会話セット2」

<駅にて> A-乗客、B-駅員

- 001 (A) 四ッ谷駅まで一枚ください。
- 002 (B) ここでは近距離の切符は売ってませんよ。そこの自動販売機で買ってください。
- 003 (A) でも、こまかいお金がないんですが.....。
- 004 (B) そこの両替機で千円札を百円玉にくずしてから買ってください。
- 005 (A) あのう、四ッ谷までいくらでしょうか。
- 006 (B) 140円ですよ。そこに書いてあるでしょう。
- 007 (A) はい。どうも。

24. 「会話セット3」

<郵便局にて> A-客、B-郵便局員

- 001 (A) これ、アメリカまで航空便でいくらですか。
- 002 (B) 10グラム以下だから150円です。
- 003 (A) 何日ぐらいかかりますか。
- 004 (B) カリフォルニアですから、4日ぐらいですね。
- 005 (A) そうですか。速達にすると、どのくらいですか。
- 006 (B) 速達なら2日ですね。速達料は300円。
- 007 (A) じゃ、速達にしてください。それからこの小包お願いします。
- 008 (B) これもカリフォルニアですね。航空便ですか。船便ですか。
- 009 (A) 船便でお願いします。
- 010 (B) 1,300円です。1か月半ぐらいかかりますよ。
- 011 (A) けっこうです。あと150円の切手5枚とエアレター2枚。
- 012 (B) 全部で2,740円です。

25. 「文セット2」

<母音>

001 相生のおいは 藍より 青い色を 追う。

<鼻音>

002 能がない 物真似でも 文句が いえない。

<無声子音>

003 小さな キツツキと 草木の クロッキー だった。

26. 「文セット3」

2-001 3(0)-2(0)

01	梅が 咲く	うめが さく
02	鳥が 鳴く	とりが なく
03	鐘が 鳴る	かねが なる
04	押しが 利く	おしが きく
05	顔が 利く	かおが きく
06	鼻が 利く	はなが きく
07	口を 割る	くちを わる
08	不意を つく	ふいを つく
09	当てに する	あてに する

2-002 3(0)-2(1)

01	水が 澄む	みずが すゝむ
02	風が 吹く	かぜが ふゝく
03	水が 漏る	みずが もゝる
04	顔を 出す	かおを だゝす
05	風を 切る	かぜを きゝる
06	釘を 刺す	くぎを さゝす
07	不意を 打つ	ふいを うゝつ
08	筆を 執る	ふでを とゝる
09	鼻に つく	はなに つゝく
10	口に 合う	くちに あゝう

2-003 3(1)-2(0)

01	雨が 止む	あゝめが やむ
02	跡を 引く	あゝとを ひく
03	窓が 開く	まゝどが あく
04	ベルが 鳴る	べゝルが なる
05	恩に 着る	おゝんに きる
06	無理を 言う	むゝりを いう

07 辞書を 引く じーしょを ひく

08 デマが 飛ぶ デーマが とぶ

2-004 3(1)-2(1)

01 肩を 持つ かーたを もーつ

02 息が 合う いーきが あーう

03 雨が 降る あーめが ふーる

04 芸が 無い げーいが なーい

05 危機が 去る きーきが さーる

06 空を 切る くーうを きーる

07 メモを 取る メーモを とーる

08 息を 飲む いーきを のーむ

09 白を 切る しーらを きーる

10 にべも 無い にーべも なーい

2-005 3(2)-2(0)

01 潮が 引く しおーが ひく

02 花が 咲く はなーが さく

03 腕が 鳴る うでーが なる

04 意地を 張る いじーを はる

05 世話を 焼く せわーを やく

06 腹を 割る はらーを わる

07 見栄を 張る みえーを はる

08 耳を 貸す みみーを かす

2-006 3(2)-2(1)

01 雪が 降る ゆきーが ふーる

02 冬が 来る ふゆーが くーる

03 蔵が 建つ くらーが たーつ

04 熱が 出た ねつーが でーた

05 受けが 良い うけーが よーい

06 夢を 見た ゆめーを みーた

07	顎を 出す	あご ^一 を だ ^一 す
08	恥を 搔く	はじ ^一 を か ^一 く
09	骨を 折る	ほね ^一 を お ^一 る
10	胸を 打つ	むね ^一 を う ^一 つ
11	意地に なる	いじ ^一 に な ^一 る
12	機知に 富む	きち ^一 に と ^一 む

2-007 3(0)-3(0)

01	口が 軽い	くちが かるい
02	水が 溜る	みずが たまる
03	餅が 焼ける	もちが やける
04	口が 固い	くちが かたい
05	顔が 売れる	かおが うれる
06	連れが 居ない	つれが いない
07	羽目を 外す	はめを はずす
08	鼻を 明かす	はなを あかす
09	不意を くらう	ふいを くらう

2-008 3(0)-3(1)

01	かびが 生えた	かびが は ^一 えた
02	釘が 錆びた	くぎが さ ^一 びた
03	客が 入る	きゃくが は ^一 いる
04	壁に 掛けた	かべに か ^一 けた
05	顔を 見せた	かおを み ^一 せた
06	傷も 癒えた	きずも い ^一 えた
07	水が 出ない	みずが で ^一 ない
08	酒を 飲んだ	さけを の ^一 んだ
09	爪が 伸びた	つめが の ^一 びた

2-009 3(0)-3(2)

01	お茶に 招く	おちゃに まね ^一 く
02	お目に かかる	おめに かか ^一 る

03	風邪が 流行る	かぜが はやーる
04	虹が 掛かる	にじが かかーる
05	床が きしむ	ゆかが きしーむ
06	虫を たたく	むしを たたーく
07	腰を ねじる	こしを ねじーる

2-010 3(1)-3(0)

01	海が 荒れる	うーみが あれる
02	パンが 焼けた	パーンが やけた
03	栓が 固い	せーんが かたい
04	息が はずむ	いーきが はずむ
05	高を くくる	たーかを くくる

2-011 3(1)-3(1)

01	雛が かえる	ひーなが かーえる
02	糸が 切れた	いーろが きーれた
03	針が 折れた	はーりが おーれた
04	嘘が ばれた	うーそが ばーれた
05	息が 絶えた	いーきが たーえた
06	帰路に 就いた	きーろに つーいた
07	事故に 遭った	じーこに あーった

2-012 3(1)-3(2)

01	空が 曇る	そーらが くもーる
02	雛が 育つ	ひーなが そだーつ
03	数が 揃う	かーずが そろーう
04	憂さを 晴らす	うーさを はらーす
05	駄々を こねる	だーだを こねーる
06	声を 掛ける	こーえを かけーる
07	息を 詰める	いーきを つめーる
08	猫を 被る	ねーこを かぶーる
09	打てば 響く	うーてば ひびーく

2-013 3(2)-3(0)

01	肝が 座る	きもーが	すわる
02	腹が 据わる	はらーが	すわる
03	足が すくむ	あしーが	すくむ
04	肝を 潰す	きもーを	つぶす
05	足を 運ぶ	あしーを	はこぶ
06	腕を 振るう	うでーを	ふるう
07	熱を 上げる	ねつーを	あげる
08	型に はまる	かたーに	はまる
09	顎で 使う	あごーで	つかう

2-014 3(2)-3(1)

01	歌が はいる	うたーが	はーいる
02	腕で 受けた	うでーで	うーけた
03	潮が 満ちた	しおーが	みーちた
04	幕が 降りた	まくーが	おーりた
05	恥を 搔いた	はじーを	かーいた
06	骨が 折れた	ほねーが	おーれた
07	靴が 脱げた	くつーが	ぬーげた

2-015 3(2)-3(2)

01	欲が 深い	よくーが	ふかーい
02	足が 鈍る	あひーが	にぶーる
03	骨が 折れる	ほねーが	おれーる
04	耳が 早い	みみーが	はやーい
05	幕を 降ろす	まくーを	おろーす
06	肝を 冷やす	きもーを	ひやーす
07	けりを つける	けりーを	つけーる
08	耳を 澄ます	みみーを	すまーす

2-016 3(0)-4(0)

01	箱が 潰れた	はこが	つぶれた
----	--------	-----	------

02 バラが 萎れた
03 敵が 攻めよる
04 虫が 知らせた
05 当てが 外れる
06 鼻を へし折る
07 幅を 利かせる
08 膝を 乗り出す
09 筆を 加える

バラが しおれた
てきが せめよる
むしが しらせた
あてが はずれる
はなを へしおる
はばを きかせる
ひざを のりだす
ふでを くわえる

2-017 3(0)-4(1)

01 ここは 不便だ
02 羽が きれいだ
03 それは 見事だ

ここは ふーべんだ
はねが きーれいだ
それは みーごとだ

2-018 3(0)-4(2)

01 人を 殺めた
02 お茶を 濁した
03 連れと はぐれた
04 虫が 好かない
05 お湯が 溢れた

ひとを あやーめた
おちゃを にごーした
つれと はぐーれた
むしが すかーない
おゆが あふーれた

2-019 3(0)-4(3)

01 水が 湧き出る
02 水が 流れる
03 道を たずねる
04 国が 栄える
05 水が 飲みたい
06 首を 傾げる
07 先を 争う
08 膝を 交える
09 鼻で あしらう

みずが わきでーる
みずが ながれーる
みちを たずねーる
くにが さかえーる
みずが のみたーい
くびを かしげーる
さきを あらそーう
ひざを まじえーる
はなで あしらーう

2-020 3(1)-4(0)

- | | | |
|----|----------|------------|
| 01 | 掬摸が 捕まる | すゝりが つかまる |
| 02 | 席が 埋まった | せゝきが うまった |
| 03 | 我を 忘れる | わゝれを わすれる |
| 04 | 肩を すぼめる | かゝたを すぼめる |
| 05 | 肩を 並べる | かゝたを ならべる |
| 06 | 取るに 足りない | とゝるに たりない |
| 07 | 隅に 置けない | すゝみに おけない |
| 08 | 無理は 承知だ | むゝりは しょうちだ |

2-021 3(1)-4(1)

- | | | |
|----|---------|------------|
| 01 | 雨期に 入った | うゝきに はゝいった |
| 02 | 語彙が 豊富だ | ごゝいが ほゝうふだ |
| 03 | 祖母は 元気だ | そゝぼは げゝんきだ |
| 04 | 誰も 来ないぞ | だゝれも こゝないぞ |
| 05 | 罪を 免じた | つゝみを めゝんじた |

2-022 3(1)-4(2)

- | | | |
|----|-----------|-------------|
| 01 | ファンが 野次った | ファゝンが やじゝった |
| 02 | 嘘は つかない | うゝそは つかゝない |
| 03 | 今日は 寒いね | きよゝうは さむゝいね |
| 04 | 外は 暑いよ | そゝとは あつゝいよ |
| 05 | そらで 唱えた | そゝらで となゝえた |
| 06 | 跡を 絶たない | あゝとを たたゝない |

2-023 3(1)-4(3)

- | | | |
|----|---------|-------------|
| 01 | 粒が 細かい | つゝぶが こまかゝい |
| 02 | 鶴が 羽ばたく | つゝるが はばたゝく |
| 03 | 糸が 絡まる | いゝとが からまゝる |
| 04 | 悪が のさばる | あゝくが のさばゝる |
| 05 | ファンが 喜ぶ | ファゝンが よろこゝぶ |
| 06 | 雲が 棚引く | くゝもが たなびゝく |
| 07 | 息を 引き取る | いゝきを ひきとゝる |

08	肩を 怒らす	かゝたを いからゝす
09	声を 潜める	こゝえを ひそめゝる
10	策を 施す	さゝくを ほどこゝす
11	奴を 追い出せ	やゝつを おいだゝせ

2-024 3(2)-4(0)

01	街を 見渡す	まちゝを みわたす
02	花が 盛りだ	はなゝが さかりだ
03	月が 明るい	つきゝが あかるい
04	花が 萎れた	はなゝが しおれた
05	百も 承知だ	ひゃくゝも しょうちだ
06	肝に 命じる	きもゝに めいじる
07	脇を 固める	わきゝを かためる
08	塩が 足りない	しおゝが たりない
09	馬に 乗りたい	うまゝに のりたい

2-025 3(2)-4(1)

01	意地を 通した	いじゝを とゝおした
02	旅は 愉快だ	たびゝは ゆゝかいだ
03	波は なかった	なみゝは なゝかった

2-026 3(2)-4(2)

01	雪が 積もった	ゆきゝが つもゝった
02	山が 崩れた	やまゝが くずゝれた
03	聞くに 絶えない	きくゝに たえゝない
04	技を 競った	わざゝを きそゝった
05	網に かった	あみゝに かかゝった
06	岩を 砕いた	いわゝを くだゝいた

2-027 3(2)-4(3)

01	明日は 休みだ	あすゝは やすみゝだ
02	雪は 降るまい	ゆきゝは ふるまゝい
03	山は 歩ける	やまゝは あるけゝる

04	足が 短い	あしーが みじかーい
05	家が 貧しい	いえーが まずしーい
06	犬を 飼いたい	いぬーを かいたーい
07	馬を 上げよう	うまーを あげよーう

2-028 3(0)-5(0)

01	勤が 働いた	かんが はたらいた
02	ここは 安全だ	ここは あんぜんだ
03	庭で 遊ばせる	にわで あそばせる
04	道を 開けさせた	みちを あけさせた

2-029 3(0)-5(1)

01	お茶は 結構だ	おちゃは けーっこうだ
02	それも 見ておいた	それも みーておいた

2-030 3(0)-5(2)

01	これは 朝顔だ	これは あさーがおだ
02	それは 不可能だ	それは ふかーのうだ

2-031 3(0)-5(3)

01	敵を 追い込んだ	てきを おいこーんだ
02	株を 買い占めた	かぶを かいしーめた
03	君も 物好きだ	きみも ものずーきだ

2-032 3(0)-5(4)

01	ここに 集まろう	ここに あつまろーう
02	霧が 晴れません	きりが はれませーん
03	風が 止みません	かぜが やみませーん
04	それは 仕様がな	それは しょうがなーい
05	それが 望ましい	それが のぞましーい
06	羽を 伸ばしたい	はねを のばしたーい

2-033 3(1)-5(0)

01	窓を 開けさせた	まーどを あけさせた
02	母に 教わった	はーはに おそわった

03	ファンが 駆けまわる	ファンが かけまわる
04	声を 震わせた	こゝえを ふるわせた
05	今日を 忘れない	きょうを わすれない
06	彼を 笑えない	かれを わらえない

2-034 3(1)-5(1)

01	ストは 回避した	ストは かゝいひした
02	空は 青かった	そらは あゝおかった
03	ビルが 建つそうだ	ビルが たゝつそうだ
04	彼は ケチらしい	かれは けゝらしい
05	雨を 見ていたい	あゝめを みゝていたい
06	僕は ついている	ぼくは つゝいている
07	今日も 暑かった	きょうも あゝつかった

2-035 3(1)-5(2)

01	罪は 明らかだ	つゝみは あきゝらかだ
02	彼は にこやかだ	かれは にこゝやかだ
03	海は おだやかだ	うゝみは おだゝやかだ

2-036 3(1)-5(3)

01	さいは 投げられた	さゝいは なげらゝれた
02	頬を 赤らめた	ほゝほを あからゝめた
03	彼は 金持ちだ	かれは かねもゝちだ
04	雨も 止みそうだ	あゝめも やみそゝうだ

2-037 3(1)-5(4)

01	嘘は 言いません	うゝそは いいませゝん
02	箸が もてません	はゝしが もてませゝん
03	文字が 読みにくい	もゝじが よみにくゝい
04	今は 暖かい	いゝまは あたたかゝい
05	嘘を 言い難い	うゝそを いいにくゝい
06	雨は 降りません	あゝめは ふりませゝん

2-038 3(2)-5(0)

01	駄目で もともとだ	だめーで もともとだ
02	夢も 必要だ	ゆめーも ひつようだ
03	穴を 埋めたい	あなーを うずめたい
04	夢が 広がった	ゆめーが ひろがった
05	鍵が 無くなった	かぎーが なくなった
06	雪が ちらついた	ゆきーが ちらついた
07	犬は 逃げだした	いぬーは にげだした

2-039 3(2)-5(1)

01	夢を 見たそう	ゆめーを みーたそう
02	村を 見てくれた	むらーを みーてくれた
03	裏を かいてやる	うらーを かーいてやる
04	夏は 大好きだ	なつーは だーいすきだ
05	家が 貧乏だ	いえーが びーんぼうだ

2-040 3(2)-5(2)

01	明日が 山だろう	あすーが やまーだろう
02	街は にぎやかだ	まちーは にぎーやかだ
03	色が 鮮やかだ	いろーが あざーやかだ
04	飯は まずかった	めしーは まずーかった
05	うまい イチジクだ	うまーい いちーじくだ

2-041 3(2)-5(3)

01	明日も 降りそう	あすーも ふりそーうだ
02	花が 散りかけた	はなーが ちりかーけた
03	町は 荒れ果てた	まちーは あれはーてた
04	雪が 舞い込んだ	ゆきーが まいこーんだ
05	親を 困らせた	おやーを こまらーせた

2-042 3(2)-5(4)

01	親を うならせる	おやーを うならせーる
02	鍵が ありません	かぎーが ありませーん
03	腕を 磨きたい	うでーを みがきたーい

- 04 部屋は 暖かい へやーは あたたかーい
- 05 山に 行くだけだ やまーに いくだけーだ
- 2-043 3(0)-6(0)
- 2-044 3(0)-6(1)
- 2-045 3(0)-6(2)
- 01 風邪が 流行っている かぜが はやーっている
- 2-046 3(0)-6(3)
- 01 君は 後回しだ きみは あとまーわしだ
- 02 右の 女の子だ みぎの おんなーのこだ
- 2-047 3(0)-6(4)
- 01 何も 食べられない なにも たべられーない
- 02 鐘が 鳴り響いた かねが なりひびーいた
- 03 姉と 間違われた あねと まちがわーれた
- 04 羽を むしりとった はねを むしりとーった
- 05 ここに 泊まるそうだ ここに とまるそーうだ
- 2-048 3(0)-6(5)
- 01 風邪を ひいたらしい かぜを ひいたらしーい
- 02 道が わかりません みちが わかりませーん
- 2-049 3(1)-6(0)
- 01 今も 遊んでいる いーまも あそんでいる
- 02 何処か 違っている どーこか ちがっている
- 03 彼は 人気者だ かーれは にんきものだ
- 04 母は きれい好きだ はーはは きれいずきだ
- 2-050 3(1)-6(1)
- 01 今も 愛している いーまも あーいしている
- 02 特に 頑固だった とーくに がーんこだった
- 03 ひどく 青くなった ひーどく あーおくなった
- 2-051 3(1)-6(2)
- 01 いつも 一位だった いーつも いちーいだった

2-052 3(1)-6(3)

01 だから 言ったでしょう だーから いったーでしょう
02 彼は 意気地無しだ かーれは いくじーなしだ

2-053 3(1)-6(4)

01 今日で 辞めるそうだ きょーうで やめるそーうだ
02 声で 力付けた こーえで ちからつーけた
03 罪を 擦り付けた つーみを なすりつーけた

2-054 3(1)-6(5)

01 喉が いがらっぽい のーどが いがらっぽーい
02 窓は 開きません まーどは ひらきませーん

2-055 3(2)-6(0)

01 駄目で もともとだよ だめーで もともとだよ
02 時を 刻んでいる ときーを きざんでいる

2-056 3(2)-6(1)

2-057 3(2)-6(2)

01 役に 立たなかった やくーに たたーなかった
02 鍵が 掛かっていた かぎーが かかーっていた
03 馬に 合わせていた うまーに あわーせていた
04 池で 見られている いけーで みらーれている

2-058 3(2)-6(3)

2-059 3(2)-6(4)

01 昼は 飲み忘れた ひるーは のみわすーれた

2-060 3(2)-6(5)

01 歌は 歌えません うたーは うたえませーん
02 雪を 踏み固める ゆきーを ふみかためーる

2-061 3(0)-7(0)

2-062 3(0)-7(1)

2-063 3(0)-7(2)

01 風邪に かかったようだ かぜに かかーったようだ

02 叔父に 会われていない おじに あわーれていない

2-064 3(0)-7(3)

2-065 3(0)-7(4)

2-066 3(0)-7(5)

2-067 3(0)-7(6)

2-068 3(1)-7(0)

2-069 3(1)-7(1)

01 彼は 赤の他人だ かーれは あーかのたにんだ

2-070 3(1)-7(2)

2-071 3(1)-7(3)

01 傘は いらないだろう かーさは いらなーいだろう

2-072 3(1)-7(4)

01 彼も 話上手だ かーれも はなしじょーうずだ

02 今日 手持ち無沙汰だ きょーうは てもちぶーさただ

2-073 3(1)-7(5)

01 祖父は 達者だそうだ そーふは たっしゃだそーうだ

2-074

3(1)-7(6)

01 彼は 疑い深い かーれは うたがいぶかーい

02 蘭を 咲かせてみたい らーんを さかせてみたーい

03 彼は 辛抱強い かーれは しんほうつよーい

2-075 3(2)-7(0)

2-076 3(2)-7(1)

2-077 3(2)-7(2)

2-078 3(2)-7(3)

2-079 3(2)-7(4)

2-080 3(2)-7(5)

01 耳は 達者なようだ みみーは たっしゃなよーうだ

2-081 3(2)-7(6)

01 腕は 衰えません うでーは おとろえませーん

2-082 4(0)-2(0)

01 座席が 空く ざせきが あく
02 薬が 利く くすりが きく
03 血の気が 引く ちのけが ひく
04 小皺が 寄る こじわが よる
05 油を 売る あぶらを うる
06 喧嘩を 売る けんかを うる
07 人目を 引く ひとめを ひく
08 調子に 乗る ちょうしに のる

2-083 4(0)-2(1)

01 利息が 付く りそくが つーく
02 陽気が 良い ようきが いーい
03 人気が出る にんきが でーる
04 噂が 立つ うわさが たーつ
05 嫌気が さす いやけが さーす
06 当たりが 良い あたりが いーい
07 お足が 出た おあしが でーた
08 大目に 見る おおめに みーる
09 先手を 打つ せんてを うーつ
10 自腹を 切る じばらを きーる

2-084 4(1)-2(0)

01 しぶきが 飛ぶ しーぶきが とぶ
02 何処かに 行く どーこかに ゆく
03 頼りに する たーよりに する
04 涙を ふく なーみだを ふく
05 日舞を 舞う にーちぶを まう

2-085 4(1)-2(1)

01 車内が 混む しゃーないが こーむ

02	後光が 射す	ごーこうが さーす
03	ともかく 来い	とーもかく こーい
04	定かで ない	さーだかで なーい
05	音頭を 取る	おーんどを とーる
06	啖呵を 切る	たーんかを きーる
07	涙を 飲む	なーみだを のーむ

2-086 4(2)-2(0)

01	目眩が する	めまーいが する
02	よそ見を する	よそーみを する
03	子守に 行く	こもーりに いく
04	臭いを 嗅ぐ	におーいを かぐ
05	祝いも いる	いわーいも いる

2-087 4(2)-2(1)

01	おじゃんになる	おじゃーんに なーる
02	斜めに 立つ	ななーめに たーつ
03	一息 つく	ひとーいき つーく
04	臭いは 無い	におーいは なーい
05	払いが いい	はらーいが いーい

2-088 4(3)-2(0)

01	晴れ着を 着た	はれぎーを きた
02	言葉を 継ぐ	ことばーを つぐ
03	力を 貸す	ちからーを かす
04	流れを 汲む	ながれーを くむ
05	恨みを かう	うらみーを かう
06	帰りに 寄る	かえりーに よる

2-089 4(3)-2(1)

01	返事が ない	へんじーが なーい
02	落ち目に なる	おちめーに なーる
03	帰りを 待つ	かえりーを まーつ

04	敵を 討つ	かたき→を う→つ
05	力を 得る	ちから→を え→る
06	夜明けを 待つ	よあけ→を ま→つ
07	仲間は 来る	なかま→は く→る

2-090 4(0)-3(0)

01	お里が 知れる	おさとが しれる
02	不安が 覗く	ふあんが のぞく
03	出馬を 決めた	しゅつばを きめた
04	現を 抜かす	うつつを ぬかす
05	年季を 入れる	ねんきを 入れる
06	お高く 止まる	おたかく とまる

2-091 4(0)-3(1)

01	人出が 多い	ひとでが お→おい
02	奇跡が 起きた	きせきが お→きた
03	電話が 切れた	でんわが き→れた
04	嫌気が さした	いやけが さ→した
05	ボタンが 取れた	ボタンが と→れた
06	秘密が 漏れた	ひみつが も→れた
07	全く 無茶だ	まったく む→ちゃだ
08	きびすを 返す	きびすを か→えす
09	本音を 吐いた	ほんねを は→いた
10	弱音を 吐くな	よわねを は→くな
11	客間に 通す	きゃくまに と→おす

2-092 4(0)-3(2)

01	おだてに のるな	おだてに のる→な
02	汚れが 目立つ	よごれが めだ→つ
03	気骨が 折れる	きぼねが おれ→る
04	聞こえが 悪い	きこえが わる→い
05	注射を 受ける	ちゅうしゃを うけ→る

06	不満を もらす	ふまを もらゝす
07	油を 絞る	あぶらを しぼゝる
08	工夫を 凝らす	くふうを こらゝす
09	出端を くじく	でばなを くじゝく
10	発破を 掛ける	はっぱを かけゝる
11	重荷を 下ろす	おもにを おろゝす

2-093 4(1)-3(0)

01	寒波が 襲う	かゝんぱが おそう
02	ヒューズが 飛んだ	ヒューズが とんだ
03	ご飯が 炊けた	ごゝはんが たけた
04	カーブが 急だ	カゝーブが きゅうだ
05	哀れを 誘う	あゝわれを さそう
06	火花を 散らす	ひゝばなを ちらす
07	大した 人だ	たゝいした ひとだ
08	思案に 暮れる	しゝあんに くれる
09	見向きも しない	みゝむきも しない

2-094 4(1)-3(1)

01	ブームが 去った	ブゝームが さゝった
02	期日が 過ぎた	きゝじつが すゝぎた
03	衣装が 来ない	いゝしょうが こゝない
04	今では 無理だ	いゝまでは むゝりだ
05	神社に 参る	じゝんじゃに まゝいる
06	箒で はいた	ほゝうきで はゝいた
07	二十歳に なった	はゝたちになゝった

2-095 4(1)-3(2)

01	肩身が 狭い	かゝたみが せまゝい
02	ダイヤが 狂う	ダゝイヤが くるゝう
03	世間が 騒ぐ	せゝけんが さわゝぐ
04	レベルが 高い	レゝベルが たかゝい

- | | | |
|----|----------|-------------|
| 05 | 話術が 冴える | わーじゅつが さえーる |
| 06 | 緑が 育つ | みーどりが そだーつ |
| 07 | 思案に 余る | しーあんに あまーる |
| 08 | ぐずぐず するな | ぐーずぐず するーな |
| 09 | ベストを 尽くす | べーストを つくーす |
| 10 | 目鼻を つける | めーはなを つけーる |
| 11 | 当時に 偲ぶ | とーうじを しのーぶ |
| 12 | 手出しを するな | てーだしを するーな |

2-096 4(2)-3(0)

- | | | |
|----|---------|-------------|
| 01 | 心が 弾む | ここーろが はずむ |
| 02 | 骨身を 削る | ほねーみを けずる |
| 03 | 許可書を 貰う | きよかーしょを もらう |
| 04 | 骨身に 染みる | ほねーみに しみる |

2-097 4(2)-3(1)

- | | | |
|----|----------|------------|
| 01 | 痛くは ないよ | いたーくは なーいよ |
| 02 | お鍋が 焦げた | おなーべが こーげた |
| 03 | ばれずに すんだ | ばれーずに すーんだ |
| 04 | 思わず 逃げた | おもーわず にーげた |
| 05 | 晴れば 良いな | はれーれば いーいな |
| 06 | 残らず 食べた | のこーらず たーべた |

2-098 4(2)-3(2)

- | | | |
|----|---------|------------|
| 01 | 心が 騒ぐ | ここーろが さわーぐ |
| 02 | 願いが 叶う | ねがーいが かなーう |
| 03 | 払いが 悪い | はらーいが わるーい |
| 04 | 子守を 頼む | こもーりを たのーむ |
| 05 | 留守居を 頼む | るすーいを たのーむ |
| 06 | 一目で 判る | ひとーめで わかーる |
| 07 | 心を 砕く | ここーろを くだーく |
| 08 | 心に 描く | ここーろに えがーく |

2-099 4(3)-3(0)

01	身元が 割れた	みもとーが	われた
02	縫目が 荒い	ぬいめーが	あらい
03	見栄えが しない	みばえーが	しない
04	皆で 決める	みんなーで	きめる
05	のんびり まわる	のんびーり	まわる
06	二人で 止める	ふたりーで	やめる

2-100 4(3)-3(1)

01	雫が 垂れた	しずくーが	たーれた
----	--------	-------	------

2-101 4(3)-3(2)

01	歯切れが 悪い	はぎれーが	わるーい
02	娘が 嫁ぐ	むすめーが	とつーぐ
03	光が 届く	ひかりーが	とどーく
04	頭が 下がる	あたまーが	さがーる
05	言葉を 濁す	ことばーを	にごーす
06	力を 落とす	ちからーを	おとーす
07	痺れを 切らす	しびれーを	きらーす

2-102 4(0)-4(0)

01	なまずが 暴れた	なまずが	あばれた
02	英語が 通じた	えいごが	つうじた
03	噂が 広がる	うわさが	ひろがる
04	二の句が 継げない	にのくが	つげない
05	得体が 知れない	えたいが	しれない
06	公示が 遅れた	こうじが	おくれた
07	人目を くらます	ひとめを	くらます
08	予定は 未定だ	よていは	みていだ

2-103 4(0)-4(1)

01	子供は 素直だ	こどもは	すーなおだ
----	---------	------	-------

2-104 4(0)-4(2)

01	噂を 集めた	うわさを あつゝめた
02	路頭に 迷った	ろとうに まよゝった
03	仕事に あぶれた	しごとに あぶゝれた
04	遺憾に 堪えない	いかんに たえゝない
05	話題は 尽きない	わだいは つきゝない

2-105 4(0)-4(3)

01	煙が 棚引く	けむりが たなびゝく
02	私が 話そう	わたしが はなそゝう
03	基本が 大事だ	きほんが だいじゝだ
04	勝手に 振舞う	かってに ふるまゝう
05	仕事に あぶれる	しごとに あぶれゝる
06	額を 合わせる	ひたいを あわせゝる

2-106 4(1)-4(0)

01	生徒が ざわつく	せゝいとが ざわつく
02	ピエロが おどけた	ピゝエロが おどけた
03	一矢を 報いた	いゝっしを むくいた
04	騒ぎを 静める	さゝわぎを しずめる
05	敵意を 感じた	てゝきいを かんじた
06	今日から はじめる	きよゝうから はじめる
07	見事に やられた	みゝごとに やられた
08	あくせく 働く	あゝくせく はたらく
09	せっせと 通った	せゝっせと かよった
10	そろそろ 時間だ	そゝろそろ じかんだ
11	クスクス 笑った	クゝスクス わらった
12	すぐさま 出掛けた	すゝぐさま でかけた

2-107 4(1)-4(1)

01	夜空が きれいだ	よゝぞらが きゝれいだ
02	電車が 混でた	でゝんしゃが こゝんでた
03	被害が 相次ぐ	ひゝがいが あゝいつぐ

04	彼女は のんきだ	かーのじよは のーんきだ
05	奇妙な 事件だ	きーみょうな じーけんだ
06	いやはや 参った	いーやはや まーいった

2-108 4(1)-4(2)

01	姿が 見えない	すーがたが みえーない
02	涙が 溢れた	なーみだが あふーれた
03	意見が 別れた	いーけんが わかーれた
04	秩序が 乱れた	ちーつじよが みだーれた
05	ヒットを 放った	ヒーットを はなーった
06	ぶくぶく 太った	ぶーくぶく ふとーった
07	ワイワイ 騒いだ	ワーイワイ さわーいだ
08	ハキハキ 答えた	ハーキハキ こたーえた
09	辛くも 逃れた	かーらくも のがーれた
10	即座に 答えた	そーくざに こたーえた
11	手はずは 揃った	てーはずは そろーった
12	毎日 暑いね	まーいにち あつーいね
13	無念を 晴らした	むーねんを はらーした
14	むんずと 掴んだ	むーんずと つかーんだ
15	便宜を はかった	べーんぎを はかーった

2-109 4(1)-4(3)

01	家運が 傾く	かーうんが かたむーく
02	雷雨が 激しい	らーいうが はげしーい
03	身ぶりが 激しい	みーぶりが はげしーい
04	拍手が 少ない	はーくしゆが すくなーい
05	暴利を 貧る	ぼーうりを むさぼーる
06	バラでも 売ります	バーラでも うりまーす
07	えくぼが かわいい	えーくぼが かわいーい
08	世間を 騒がす	せーけんを さわがーす
09	スリルを 味わう	スーリルを あじわーう

10	因果な 話だ	いーんがな	はなしーだ
11	綺麗に 着飾る	きーれいに	きかざーる
12	面子に 関わる	めーんつに	かかわーる

2-110 4(2)-4(0)

01	一から 出直す	いちーから	でなおす
02	またもや やられた	またーもや	やられた
03	思いも 寄らない	おもーいも	よらない
04	おやつを いただく	おやーつを	いただく
05	心が 引かれる	ここーろが	ひかれる
06	長居は 無用だ	ながーいは	むようだ

2-111 4(2)-4(1)

01	心が 豊かだ	ここーろが	ゆーたかだ
02	急いで 帰った	いそーいで	かーえった

2-112 4(2)-4(2)

01	答えに 詰まった	こたーえに	つまーった
02	手本を 示した	てほーんを	しめーした
03	思いも 掛けない	おもーいも	かけーない
04	所帯を 構えた	しょたーいを	かまーえた

2-113 4(2)-4(3)

01	まもなく 集まる	まもーなく	あつまーる
02	心が 紛れる	ここーろが	まぎれーる
03	刀を 痛める	かたーなを	いためーる
04	頭に 閃く	あたーまに	ひらめーく

2-114 4(2)-7(3)

01	願いは 叶わなかった	ねがーいは	かなわーなかった
----	------------	-------	----------

2-115 4(3)-4(0)

01	宝を 見つけた	たからーを	みつけた
02	手落ちを 認めた	ておちーを	みとめた
03	花見に 出かけた	はなみーに	でかけた

04	弱みに つけ込む	よわみーに	つけこむ
05	皆で 出かけた	みんなーで	でかけた
06	晴れ間が 広がる	はれまーが	ひろがる

2-116 4(3)-4(1)

01	身元は 確かだ	みもとーは	たーしかだ
02	手取りは わずかだ	てどりーは	わーずかだ

2-117 4(3)-4(2)

01	袋が 破れた	ふくろーが	やぶーれた
02	休みが 取れない	やすみーが	とれーない
03	呆気に 取られた	あつけーに	とらーれた
04	助けを 求めた	たすけーを	もとーめた
05	明日は 晴れるね	あしたーは	はれーるね

2-118 4(3)-4(3)

01	みんなが 集まる	みんなーが	あつまーる
02	頭を 痛める	あたまーを	いためーる
03	呆気に 取られる	あつけーに	とられーる

2-119 5(0)-2(0)

01	騒音が 止む	そうおんが	やむ
02	水かさが 増す	みずかさが	ます
03	若者が いる	わかものが	いる

2-120 5(0)-2(1)

01	小波が 立つ	さざなみが	たーつ
02	評判が 良い	ひょうばんが	いーい
03	性能が 良い	せいのが	いーい
04	売行きが いい	うれゆきが	いーい
05	揚げ足を 取る	あげあしを	とーる
06	うつ伏せに なる	うつぶせに	なーる

2-121 5(1)-2(0)

01	雨ならば 止め	あーめならば	やめ
----	---------	--------	----

2-122 5(1)-2(1)

- | | | |
|----|----------|----------|
| 01 | セーターを 編む | セーターを あむ |
| 02 | 催促が 来る | さいそくが くる |

2-123 5(2)-2(0)

- | | | |
|----|----------|----------|
| 01 | 花嫁が 泣く | はなよめが なく |
| 02 | おべっかを 言う | おべっかを いう |
| 03 | 目隠しを する | めかかしを する |
| 04 | レコードを 買う | レコードを かう |

2-124 5(2)-2(1)

- | | | |
|----|----------|-----------|
| 01 | 犠牲者が 出た | ぎせいしゃが でた |
| 02 | 湯冷ましを 飲む | ゆざましを のむ |
| 03 | 御利益が 無い | ごりやくが ない |
| 04 | 木枯しが 吹く | こがらしが ふく |

2-125 5(3)-2(0)

- | | | |
|----|--------|---------|
| 01 | 悪態を つく | あくたいをつく |
|----|--------|---------|

2-126 5(3)-2(1)

- | | | |
|----|---------|----------|
| 01 | 秋空が 澄む | あきぞらが すむ |
| 02 | ため息を つく | ためいきをつく |
| 03 | 相ずちを 打つ | あいずちを うつ |

2-127 5(0)-3(0)

- | | | |
|----|-----------|------------|
| 01 | 空梅雨が 続く | からつゆが つづく |
| 02 | 勝ち越しが 決まる | かちこしが きまる |
| 03 | 病棟が 並ぶ | びょうとうが ならぶ |
| 04 | 軍配が 上がる | ぐんばいが あがる |
| 05 | 鼻息が 荒い | はないきが あらい |
| 06 | 行列が 続く | ぎょうれつが つづく |
| 07 | 総裁を 決める | そうさいを きめる |

2-128 5(0)-3(1)

- | | | |
|----|--------|-----------|
| 01 | 降雪が 多い | こうせつが おおい |
|----|--------|-----------|

- | | | |
|----|-----------|-------------|
| 02 | 形勢が 不利だ | けいせいが ふーりだ |
| 03 | 計画が 無茶だ | けいかくが むーちゃだ |
| 04 | 構造が ちゃちだ | こうぞうが ちゃーちだ |
| 05 | 締め出しを 食った | しめだしを くーった |

2-129 5(0)-3(2)

- | | | |
|----|----------|-------------|
| 01 | 顔ぶれが 揃う | かおぶれが そろーう |
| 02 | 会場が 広い | かいじょうが ひろーい |
| 03 | 警官が 歩く | けいかんが あるーく |
| 04 | 遠雷が 響く | えんらいが ひびーく |
| 05 | 野良猫が 居付く | のらねこが いつーく |
| 06 | 口添えを 頼む | くちぞえを たのーむ |
| 07 | 辛酸を なめる | しんさんを なめーる |
| 08 | 練習に 励む | れんしゅうに はげーむ |
| 09 | 感情に 走る | かんじょうに はしーる |
| 10 | 絶対に 嫌だ | ぜったいに いやーだ |

2-130 5(1)-3(0)

- | | | |
|----|------------|------------|
| 01 | 太陽が 沈む | たーいようが しずむ |
| 02 | 当番が 当たる | とーうばんが あたる |
| 03 | まずまずの 出来だ | まーずまの できだ |
| 04 | ピッチャーを 替える | ピッチャーを かえる |
| 05 | 挨拶を 交わす | あいさつを かわす |
| 06 | 雨ばかり 続く | あーめばかり つづく |

2-131 5(1)-3(1)

- | | | |
|----|-----------|-------------|
| 01 | 犯人が 逃げた | はーんにんが にーげた |
| 02 | タクシーが 来ない | たークシーが こーない |

2-132 5(1)-3(2)

- | | | |
|----|-----------|--------------|
| 01 | 雨風が 強い | あーめかぜが つよーい |
| 02 | 良心が 痛む | りょーうしんが いたーむ |
| 03 | できたなら 呼ぼう | でーきたなら よほーう |

- | | | |
|----|------------|--------------|
| 04 | 運命を 呪う | うーんめいを のろーう |
| 05 | 運命を たどる | うーんめいを たどーる |
| 06 | どこまでも 見える | どーこまでも みえーる |
| 07 | レギュラーを 目指す | レーギュラーを めざーす |

2-133 5(2)-3(0)

- | | | |
|----|----------|-------------|
| 01 | 迫力に 欠ける | はくーりよくに かける |
| 02 | 小道具を 使う | こどーうぐを つかう |
| 03 | 不注意を 詫びた | ふちゅーういを わびた |

2-134 5(2)-3(1)

- | | | |
|----|-----------|-------------|
| 01 | 地滑りが 起きた | じすーべりが おーきた |
| 02 | トラブルが 起きた | トラーブルが おーきた |
| 03 | ストップを 掛けた | ストーップを かーけた |
| 04 | 屁理屈を こねた | へりーくつを こーねた |
| 05 | 駆け足で 帰る | かけーあしで かーえる |

2-135 5(2)-3(2)

- | | | |
|----|-----------|---------------|
| 01 | 小包が 届く | こづーつみが とどーく |
| 02 | 許可証が 降りる | きょかーしょうが おりーる |
| 03 | 日本史が 好きだ | にほーんしが すきーだ |
| 04 | 雨漏りが ひどい | あまーもりが ひどーい |
| 05 | おねだりが うまい | おねーだりが うまーい |
| 06 | 世渡りが 下手だ | よわーたりが へたーだ |
| 07 | 歯並びが 悪い | はなーらびが わるーい |
| 08 | 手助けを 頼む | てだーすけを たのーむ |
| 09 | ふる里を 偲ぶ | ふるーさとを しのーぶ |

2-136 5(3)-3(0)

2-137 5(3)-3(1)

- | | | |
|----|----------|--------------|
| 01 | 大雨が 降った | おおあーめが ふーった |
| 02 | 参加者が 増えた | さんかーしゃが ふーえた |
| 03 | かけ声を 掛けた | かけごーえを かーけた |

2-138 5(3)-3(2)

01	集まりが 悪い	あつまーりが わるーい
02	アイデアを 募る	アイデーアを つのーる
03	装いを 凝らす	よそおーいを こらーす
04	ため息を 漏らす	たもいーきを もらーす
05	考えに ふける	かんがーえに ふけーる

2-139 5(0)-4(0)

01	客足が 疎らだ	きゃくあしが まばらだ
02	悪知恵が 働く	わるぢえが はたらく
03	風船が 膨らむ	ふうせんが ふくらむ
04	名案が 浮かんだ	めいあんが うかんだ
05	実現が 遅れた	じつげんが おくれた
06	計画が ずさんだ	けいかくが ずさんだ
07	ハチミツが 足りない	ハチミツが たりない
08	一生を 捧げる	いっしょうを ささげる
09	客人を もてなす	きゃくじんを もてなす
10	風上に 置けない	かざかみに おけない

2-140 5(0)-4(1)

01	品質は 確かだ	ひんしつは たーしかだ
02	情報が 命だ	じょうほうが いーのちだ
03	できばえが リアルだ	できばえが リーアルだ

2-141 5(0)-4(2)

01	足取りを 掴んだ	あしどりを つかーんだ
02	雁首を 揃えた	がんくびを そろーえた
03	手短に 話した	てみじかに はなーした
04	先方へ 出向いた	せんぼうへ でむーいた
05	裏山が 崩れた	うらやまが くずーれた
06	採算が 取れない	さいさんが とれーない
07	つじつまが 合わない	つじつまが あわーない

08 強豪が 敗れた きょうごうが やぶ→れた
09 引っ込みが つかない ひっこみが つか→ない

2-142 5(0)-4(3)

01 雨足が 激しい あまあしが はげし→い
02 野良犬が 集まる のらいぬが あつま→る
03 残高が 少ない ざんだかが すくな→い
04 対立が 激しい たいりつが はげし→い
05 締切に 間に合う しめきりに まにあ→う
06 温泉が 湧き出た おんせんが わきで→た
07 プライドが 傷付く プライドが きずつ→く
08 一生を 貫く いっしょうを つらぬ→く
09 頭角を 現す とうかくを あらわ→す
10 一生を 誤る いっしょうを あやま→る

2-143 5(1)-4(0)

01 運命は 不思議だ う→んめいは ふしぎだ
02 リーダーが 決まった リ→ーダーが きまった
03 メンバーが 足りない メ→ンバーが たりない
04 日光が 射込む に→っこうが さしこむ
05 合うまでは 不安だ あ→うまでは ふあんだ
06 犯人を 見逃す は→んにんを みのがす

2-144 5(1)-4(1)

01 満月が 綺麗だ ま→んげつが き→れいだ
02 ランナーの 努力だ ラ→ンナーの ど→りよくだ

2-145 5(1)-4(2)

01 歳月が 流れた さ→いげつが なが→れた
02 決心が 鈍った け→っしんが にぶ→った
03 判断が つかない は→んだんが つか→ない
04 農業が できない の→うぎょうが でき→ない
05 モニターを 募った モ→ニターを つの→った

2-146 5(1)-4(3)

- | | | |
|----|------------|--------------|
| 01 | ランナーが 飛び出る | ランナーが とびでーる |
| 02 | 這ってでも 行きます | はーってでも いきまーす |
| 03 | 神経が 図太い | しーんけいが ずぶとーい |

2-147 5(2)-4(0)

- | | | |
|----|------------|---------------|
| 01 | 食料が 足りない | しょくーりょうが たりない |
| 02 | 不都合が 生じた | ふつーごうが しょうじた |
| 03 | アピールが 足りない | アピーールが たりない |
| 04 | 御褒美を 貰った | ごほーうびを もらった |
| 05 | 編物が 得意だ | あみーものが とくいだ |
| 06 | 火遊びは 危険だ | ひあーそびは きけんだ |
| 07 | お手玉で 遊んだ | おてーだまで あそんだ |
| 08 | 晴れるまで 中止だ | はれーるまで ちゅうしだ |

2-148 5(2)-4(1)

2-149 5(2)-4(2)

- | | | |
|----|-----------|--------------|
| 01 | 足腰が 立たない | あしーこしが たたーない |
| 02 | 立て札が 倒れた | たてーふだが たおーれた |
| 03 | 花束が 届いた | はなーたばが とどーいた |
| 04 | 生傷が 絶えない | なまーきずが たえーない |
| 05 | 手がかりを 掴んだ | てがーかりを つかーんだ |

2-150 5(2)-4(3)

- | | | |
|----|-----------|--------------|
| 01 | 地下水が 湧き出た | ちかーすいが わきでーた |
| 02 | 御贔屓に 預かる | ごひーいきに あずかーる |
| 03 | 手放しで 喜ぶ | てばーなしで よろこーぶ |
| 04 | 早起きは 苦手だ | はやーおきは にがてーだ |

2-151 5(3)-4(0)

- | | | |
|----|----------|-------------|
| 01 | 足元を 見つめる | あしもーとを みつめる |
| 02 | 一身を 捧げる | いっしーんを ささげる |
| 03 | 弁当を 忘れた | べんとーうを わすれた |

2-152 5(3)-4(1)

2-153 5(3)-4(2)

01	ソバカスが 目立った	ソバカースが めだった
02	冷汗が 流れた	ひやあせが ながれた
03	大声で 怒鳴った	おおごえで どなった
04	教科書を 破いた	きょうかしょを やぶいた

2-154 5(3)-4(3)

01	燃料が 乏しい	ねんりょうが とぼしい
02	コーヒーが 飲みたい	コーヒーが のみた
03	冷汗が 流れる	ひやあせが ながれる
04	アイデアが 閃く	アイディアが ひらめく
05	孤児を 育てる	みなしごを そだてる

2-155 5(0)-5(0)

2-156 5(0)-5(1)

2-157 5(0)-5(2)

2-158 5(0)-5(3)

01	大物を 釣りあげた	おおものを つりあげた
----	-----------	-------------

2-159 5(0)-5(4)

2-160 5(1)-5(0)

2-161 5(1)-5(1)

2-162 5(1)-5(2)

2-163 5(1)-5(3)

01	体力が 衰えた	たいりよくが おとろえた
02	両親を 呼び寄せた	りょうしんを よびよせた
03	ライバルに 追いついた	ライバルに おいついた

2-164 5(1)-5(4)

01	塩分は 控えよう	えんぶんは ひかえよう
----	----------	-------------

2-165 5(2)-5(0)

01	朝顔も 咲いている	あさがおも さいている
----	-----------	-------------

- | | | |
|----|-------------|---------------|
| 02 | レポートは 完璧だ | レポ→ートは かんぺきだ |
| 03 | うぐいすが 鳴いている | うぐ→いすが ないている |
| 04 | 木登りを とりやめる | きの→ぼりを とりやめる |
| 05 | おにぎりが 転がった | おに→ぎりが ころがった |
| 06 | 食欲は 旺盛だ | しょく→よくは おうせいだ |

2-166 5(2)-5(1)

- | | | |
|----|-------------|----------------|
| 01 | 利用者が 増えている | りよ→うしゃが ふ→えている |
| 02 | 書き味が 悪くなる | かき→あじが わ→るくなる |
| 03 | 身贔屓が 目に余る | みび→いきが め→にあまる |
| 04 | レコードを 持っている | レコ→ードを も→っている |
| 05 | 花嫁は 恥じている | はな→よめは は→じている |
| 06 | アパートが 建つそうだ | アパ→ートが た→つそうだ |

2-167 5(2)-5(2)

- | | | |
|----|------------|----------------|
| 01 | 補聴器の 世話になる | ほちよ→うきの せわ→になる |
| 02 | 手さばきが 鮮やかだ | てさ→ばきが あざ→やかだ |
| 03 | 答えなど 見たくない | こた→えなど みた→くない |

2-168 5(2)-5(3)

2-169 5(2)-5(4)

- | | | |
|----|-------------|---------------|
| 01 | 御好意は 有難い | ごこ→ういは ありがた→い |
| 02 | 生け花を 習いたい | いけ→ばなを ならいた→い |
| 03 | あなたとは 会いません | あな→たとは あいませ→ん |
| 04 | 晴れの日に 訪れる | はれ→のひに おとずれ→る |

2-170 5(3)-5(0)

- | | | |
|----|-------------|--------------|
| 01 | その手には のらないぞ | そのて→には のらないぞ |
| 02 | そのあとが 心配だ | そのあ→とが しんぱいだ |
| 03 | サメザメと 泣いていた | サメザ→メと ないていた |

2-171 5(3)-5(1)

- | | | |
|----|-----------|---------------|
| 01 | あの頃は 若かった | あのこ→ろは わ→かかった |
| 02 | 頭から 湯気が出た | あたま→から ゆ→げがでた |

03 その件は オーケーだ そのけーんは オーケーだ
04 みんなから 取るべきだ みんなーから とーるべきだ
05 材料を 混ぜておく ざいりょーうを まーぜておく

2-172 5(3)-5(2)

01 長引けば 嫌になる ながびーけば いやーになる
02 止めたなら 村にいる やめたーなら むらーにいる
03 材料を 豆にする ざいりょーうを まめーにする

2-173 5(3)-5(3)

01 面倒は 真っ平だ めんどーうは まっぴーらだ
02 目の前が 真っ暗だ めのまーえが まっくーらだ
03 こだわると 面倒だ こだわーると めんどーうだ

2-174 5(3)-5(4)

01 幼子が 泣きわめく おさなーごが なきわめーく
02 味噌汁が 塩辛い みそしーるが しおからーい

2-175 5(4)-5(0)

2-176 5(4)-5(1)

2-177 5(4)-5(2)

01 飲み方は さまざまだ のみかたーは さまーざまだ

2-178 5(4)-5(3)

2-179 5(4)-5(4)

01 妹は おりません いもうとーは おりませーん

2-180 5(0)-6(0)

01 名案を 思いついた めいあんを おもいついた
02 留学を 望んでいる りゅうがくを のぞんでいる
03 内定を 取り消された ないていを とりけされた
04 締切に 追われている しめきりに おわれている

2-181 5(0)-6(1)

2-182 5(0)-6(2)

01 傷跡が 残っている きずあとが のこーっている

- 02 計画が 駄目になった けいかくが だめーになった
2-183 5(0)-6(3)
- 01 友達と 色違いだ ともだちと いろちーがいだ
2-184 5(0)-6(4)
- 01 心労で やせ細った しんろうで やせほそーった
2-185 5(0)-6(5)
- 01 日曜が 待ち遠しい にちようが まちどおしーい
02 新人は 初々しい しんじんは ういういしーい
03 外国へ 行ってみたい がいこくへ いったみたーい
04 特急は 止まりません とっきゅうは とまりませーん
05 お暇を いただきたい おいとまを いたきたーい
2-186 5(1)-6(0)
- 01 命には かえられない いーのちには かえられない
02 運賃が 値上げされた うーんちんが ねあげされた
03 赤ちゃんが 笑っている あーかちゃんが わらっている
2-187 5(1)-6(1)
- 01 セーターを 編んでおいた セーターを あーんでおいた
2-188 5(1)-6(2)
- 01 親切が 徒になった しーんせつが あだーになった
2-189 5(1)-6(3)
- 01 料金は 先払いだ りょーうきんは さきばーらいだ
2-190 5(1)-6(4)
- 01 手の内は 見せられない てーのうちは みせられーない
02 飼い主が 現れない かーいぬしが あらわれーない
03 田畑を 売り払った でーんぱたを うりはらーった
04 小使いを 使い過ぎた こーずかいを つかいすーぎた
05 親切を 心掛けた しーんせつを ころろがーけた
06 両親と 死に別れた りょーうしんと しにわかーれた
2-191 5(1)-6(5)

01 料理なら お手のものだ りよーうりなら おてのものーだ
02 親切が 裏目に出た しーんせつが うらめにでーた
03 最後まで ゆずりません さーいごまで ゆずりませーん

2-192 5(2)-6(0)

2-193 5(2)-6(1)

2-194 5(2)-6(2)

01 生傷が 絶えなかった なまーきずが たえーなかった
02 スポーツで 鍛えている スポーーツで きたーえている

2-195 5(2)-6(3)

2-196 5(2)-6(4)

01 下手をすると 間に合わない へたーをすると まにあわーない
02 女生徒が 騒ぎ出した じょせーいとが さわぎだーした

2-197 5(2)-6(5)

2-198 5(3)-6(0)

01 定めには 従わない さだめーには したがわない
02 長雨が 続いている ながあーめが つづいている

2-199 5(3)-6(1)

01 災難に 遭ったらしい さいなーんに あーったらしい
02 酒飲みは 大嫌いだ さけのーみは だーいきらいだ

2-200 5(3)-6(2)

2-201 5(3)-6(3)

2-202 5(3)-6(4)

01 参加者が 集まらない さんかーしゃが あつまらーない
02 参加者を かき集めた さんかーしゃを かきあつーめた

2-203 5(3)-6(5)

2-204 5(4)-6(0)

2-205 5(4)-6(1)

2-206 5(4)-6(2)

01 この色が 流行るそうだ このいろーが はやーるそうだ

2-207 5(4)-6(3)

2-208 5(4)-6(4)

2-209 5(4)-6(5)

01 正月は 休みません しょうがつは やすみませーん

02 この町が 変わり果てる このまちが かわりはてーる

2-210 5(0)-7(0)

01 日曜も 営業してる にちようも えいぎょうしてる

02 休日は かき入れどきだ きゅうじつは かきいれどきだ

2-211 5(0)-7(1)

01 この箱は 天地無用だ このはこは てーんちむようだ

2-212 5(0)-7(2)

2-213 5(0)-7(3)

2-214 5(0)-7(4)

2-215 5(0)-7(5)

01 野良犬が 襲いかかった のらいぬが おそいかかーった

2-216 5(0)-7(6)

2-217 5(1)-7(0)

01 料金が 改定された りょーうきんが かいていされた

2-218 5(1)-7(1)

01 いつまでも うじうじしてる いーつまでも うじうじしてる

2-219 5(1)-7(2)

01 現地では 自由なようだ げーんちでは じゆーうなようだ

2-220 5(1)-7(3)

01 残金が 少なくなった ざーんきんが すくなーくなった

2-221 5(1)-7(4)

01 商品は 送り返した しょーうひんは おくりかーえした

2-222 5(1)-7(5)

2-223 5(1)-7(6)

01 最後まで やり通したい さーいごまで やりとおしたーい

2-224 5(2)-7(0)

01 鮎釣りが 解禁された あゆーつりが かいきんされた

2-225 5(2)-7(1)

2-226 5(2)-7(2)

01 手違いが 起こったようだ てちーがいが おこーったようだ

2-227 5(2)-7(3)

2-228 5(2)-7(4)

2-229 5(2)-7(5)

2-230 5(2)-7(6)

2-231 5(3)-7(0)

2-232 5(3)-7(1)

2-233 5(3)-7(2)

2-234 5(3)-7(3)

2-235 5(3)-7(4)

2-236 5(3)-7(5)

01 ローマ字で 書き込むそうだ ローマーじで かきこむそーうだ

2-237 5(3)-7(6)

01 その方が てっとり早い そのほーうが てっとりばやーい

2-238 5(4)-7(0)

2-239 5(4)-7(1)

2-240 5(4)-7(2)

2-241 5(4)-7(3)

01 する事が 頓珍漢だ することーが とんちーんかんだ

2-242 5(4)-7(4)

01 やる事が 中途半端だ やることーが ちゅうとはーんばだ

2-243 5(4)-7(5)

2-244 5(4)-7(6)

27. 「文セット4」

3-001 **-3(0)-2(0)

01 無礼な 口を 聞く ぶーれいな くちを きく
02 道路の 端に 寄る どーうろの はしに よる

3-002 **-3(0)-2(1)

01 病いの 床に 就く やーまいの ところに つーく

3-003 **-3(1)-2(0)

01 ワインの 栓を 抜く ワーインの せーんを ぬく

3-004 **-3(1)-2(1)

01 さしたる 用は ない さーしたる よーうは なーい
02 上司の 許可が 出る じょーうしの きょーかが でーる
03 大きな ビルが 建つ おーおきな ビールが たーつ
04 古風な 趣味を 持つ こーふうな しゅーみを もーつ

3(1)-**-2(1)

11 雨が 静かに 降る あーめが しーずかに ふーる
12 メモを せっせと 取る メーモを せーっせと とーる
13 母は 後から 来る はーはは あーとから くーる

3-005 **-3(2)-2(0)

01 見事な 花が 咲く みーごとな はなーが さく
02 不気味な 音が した ぶーきみな おとーが した
03 奇妙な なりを する きーみょうな なりーを する
04 甘美な 夢を 追う かーんびな ゆめーを おう

3-006 **-3(2)-2(1)

01 奇妙な 夢を 見た きーみょうな ゆめーを みーた
02 奴らの 裏を かく やーつらの うらーを かーく

3(2)-**-2(1)

11 雪が 静かに 降る ゆきーが しーずかに ふーる

3-007 **-3(0)-3(0)

01 大きな 顔を してる おーおきな かおを してる

- | | | |
|--------------------|-------------|------------------|
| 02 | 奴らの 不意を おそう | やーつらの ふいを おそう |
| 03 | 荷物を 無事に 送る | にーもつを おじに おくる |
| 04 | 田舎で 共に 暮らす | いなかで とともに くらす |
| 3(0)-**-3(0) | | |
| 11 | シミが 急に 消えた | シミが きゆうに きえた |
| 3-008 **-3(0)-3(1) | | |
| 01 | 奇妙な 顔を みせた | きーみょうな かおを みーせた |
| 02 | 大きな 柿が なった | おーおきな かきが なーった |
| 03 | 元気な 顔を見せた | げーんきな かおを みーせた |
| 3-009 3(0)-**-3(2) | | |
| 01 | 水を ザーザー かける | みずを ザーザー かけーる |
| 3-010 **-3(1)-3(0) | | |
| 01 | 不気味な 声を 聞いた | ぶーきみな こーえを きいた |
| 3(1)-**-3(0) | | |
| 11 | 母は ラジオを 消した | はーはは ラージヲを けした |
| 3-011 **-3(1)-3(1) | | |
| 01 | ギターの 弦が 切れた | ギターの げーんが きーれた |
| 02 | 不運な 事故に 遭った | ふーうんな じーこに あーった |
| 03 | 長蛇の 列が できた | ちよーうだの れーつが でーきた |
| 04 | 親子の 縁を 切った | おーやこの えーんを きーった |
| 3(1)-**-3(1) | | |
| 11 | 駅で 随分 待った | えーきで ずーいぶん まーった |
| 3-012 **-3(1)-3(2) | | |
| 01 | 内助の 功を 誉める | なーいじよの こーうを ほめーる |
| 02 | 彼女の 傘は 青い | かーのじよの かーさは あおーい |
| 03 | 恩師の 喜寿を 祝う | おーんしの きーじゆを いわーう |
| 04 | 手品の 種を 破る | てーじなの たーねを やぶーる |
| 3(1)-**-3(2) | | |
| 11 | ドアを ドンドン 叩く | ドーアを ドーンドン たたーく |

12 彼は ピンチに 強い かーれは ピンチに つよーい
13 今日は 気分が 悪い きょーうは きーぶんが わるーい

3-013 **-3(2)-3(0)

01 最後の 詰めが 甘い さーいごの つめーが あまい
02 事件の 鍵を 握る じーけんの かぎーを にぎる
03 ゲームの 親を 決める ゲーームの おやーを きめる

3(2)-**-3(0)

11 雪が 大地を 覆う ゆきーが だーいちを おおう

3-014 **-3(2)-3(1)

01 奴らの 裏を かいた やーつらの うらーを かーいた
02 レンガの 家を 建てた レンガの いえーを たーてた

3(2)-**-3(1)

11 花が ようやく 見えた はなーが ようやく みーえた

3-015 **-3(2)-3(2)

01 コートの 衿を 立てる コーートの えりーを たてーる

3(2)-**-3(2)

11 夏は 春より 好きだ なつーは はーるより すきーだ

3-016 **-3(0)-4(0)

01 年賀の 客を もてなす ねーんがの きゃくを もてなす
02 最後の 押しが 足りない さーいごの おしが たりない
03 優雅な 舞に 見とれた ゆーうがな まいに みとれた

3-017 **3(0)-4(1)

3-018 **-3(0)-4(2)

01 手首の 傷を 隠した てーくびの きずを かくーした

3(0)-**-4(2)

11 星が 夜空を 流れた ほしが よーぞらを ながーれた
12 暇が 随分 かかった ひまが ずーいぶん かかーった
13 枝も たわわに 実った えだも たわわに みのーった

3-019 **-3(0)-4(3)

01 親子の 溝が 深まる おーやこの みぞが ふかまーる
02 協議の 末に 集める きょーうぎの すえに あつめーる

3(0)-**-4(3)

11 星が 夜空を 流れる ほしが よーぞらを ながれーる

3-020 **-3(1)-4(0)

01 非難の 声が 上がった ひーなんの こーえが あがった
02 頑固な 父が 嫌いだ がーんこな ちーちが きらいだ
03 係の 指示に 従う かーかりの しーじに したがう
04 不気味な 声が 聞こえた ぶーきみな こーえが きこえた
05 神戸の 地理に 明るい こーうべの ちーりに あかるい

3(1)-**-4(0)

11 罪を 素直に 認めた つーみを すーなおに みとめた
12 母は こまめに 働く はーはは こーまめに はたらく
13 母は 滅多に 泣かない はーはは めーったに なかない
14 頬が ピンクに 染まった ほーほが ピーピンクに そまった
15 彼は 読書を 続けた かーれは どーくしょを つづけた
16 彼は 正義の 味方だ かーれは せーいぎの みかただ

3-021 3(1)-**-4(1)

01 祖母は まだまだ 元気だ そーぼは まーだまだ げーんきだ

3-022 **-3(1)-4(2)

01 工事の めどが 立たない こーうじの めーどが たたーない
02 綺麗な 生地を 選んだ きーれいな きーじを えらーんだ
03 大きな 声で 答えた おーおきな こーえで こたーえた
04 事件の 処置に 困った じーけんの しょーちに こまーった

3(1)-**-4(2)

11 ファンが サインを 求めた ファーオンが サーインを もとーめた
12 苗が 大きく 育った なーえが おーおきく そだーった

3-023 **-3(1)-4(3)

01 努力の 跡が 見られる どーりよくの あーとが みられーる

3-024 **-3(2)-4(0)

- | | | | | | | |
|----|-----|-----|------|-------|------|------|
| 01 | 随分 | ひどい | 仕打ちだ | ずーいぶん | ひどーい | しうちだ |
| 02 | 雨から | 雪に | 変わった | あーめから | ゆきーに | かわった |
| 03 | 見事な | 花を | 咲かせた | みーごとな | はなーを | さかせた |
| 04 | 可憐な | 花を | 咲かせた | かれんな | はなーを | さかせた |

3(2)-**-4(0)

- | | | | | | | |
|----|-----|------|------|------|-------|------|
| 11 | エサは | みだりに | やらない | エサーは | みーだりに | やらない |
|----|-----|------|------|------|-------|------|

3-025 3(2)-4(1)

3-026 3(2)-4(2)

3-027 3(2)-4(3)

3-028 4(0)-**-2(0)

- | | | | | | | |
|----|-----|--------|----|------|---------|----|
| 01 | 寝言を | ムニヤムニヤ | 言う | ねごとを | ムーニヤムニヤ | いう |
| 02 | 他人に | ずけずけ | 言う | たにんに | ずーけずけ | いう |
| 03 | 掃除を | こまめに | する | そうじを | こーまめに | する |

3-029 **-4(0)-2(1)

- | | | | | | | |
|----|-----|------|----|-------|-------|------|
| 01 | 確たる | 証拠が | ない | かーくたる | しょうこが | なーい |
| 02 | 確かな | 決め手が | ない | たーしかな | きめてが | なーい |
| 03 | 辺鄙な | 田舎に | 住む | へーんぴな | いなかに | すーむ |
| 04 | 出口の | 表示が | ない | でーぐちの | ひょうじが | なーい |
| 05 | 人事の | 異動が | ある | じーんじの | いどうが | あーる |
| 06 | 新たな | 仕事に | つく | あーらたな | しごと | につーく |

4(0)-**-2(1)

- | | | | | | | |
|----|-----|------|----|-------|-------|-----|
| 11 | 名前を | 大きく | 書く | なまえを | おーおきく | かーく |
| 12 | 貯金が | いくらも | ない | ちょきんが | いーくらも | なーい |

3-030 4(1)-**-2(0)

- | | | | | | | |
|----|-----|------|----|-------|-------|----|
| 01 | 辛さに | ヒーヒー | 言う | かーらさに | ヒーーヒー | いう |
|----|-----|------|----|-------|-------|----|

3-031 4(1)-**-2(1)

- | | | | | | | |
|----|-----|-----|----|-------|------|-------|
| 01 | 検査の | 結果が | 出た | けーんさの | けっかが | でーた |
| 02 | 邪険な | 態度を | とる | じゃーけん | たーいど | を とーる |

- 03 会議で 賛否を 問う かーいぎで さーんびを とーう
 3-032 4(2)-2(0)
 3-033 4(2)-2(1)
 3-034 4(3)-2(0)
 3-035 **-4(3)-2(1)
- 01 上下の 隔てが ない じょーうげの へだてーが なーい
 3-036 **-4(0)-3(0)
- 01 辺鄙な 田舎で 暮らす へーんびな いなかで くらす
 4(0)-**-3(0)
- 11 おだてに ついつい のった おだてに つーいつい のった
 12 田舎で 静かに 暮らす いなかで しーずかに くらす
 13 互いに 見向きも しない たがいに みーむきも しない
 14 お札を 硬貨に 替えた おさつを こーうかに かえた
- 3-037 **-4(0)-3(1)
- 01 かなりの 人出に なった かーなりの ひとでに なーった
 02 賞与の 支給が あった しょーうよの しきゅうが あーった
 4(0)-**-3(1)
- 11 部員が 一挙に 増えた ぶいんが いーっきよに ふーえた
- 3-038 **-4(0)-3(2)
- 01 空気の 汚染が ひどい くーうきの おせんが ひどーい
 02 元気な 子供に 育つ げーんきな こどもに そだーつ
 03 強度の 近視に 悩む きょーうどの きんしに なやーむ
 04 小さな 子供も 泳ぐ ちーいさな こどもも およーぐ
- 4(0)-**-3(2)
- 11 ときどき ガンガン 響く ときどき ガーンガン ひびーく
 12 紅茶が 何より 好きだ こうちゃが なーにより すきーだ
 13 野菜は 何でも 食べる やさいは なーんでも たべーる
- 3-039 **-4(1)-3(0)
- 01 事件の 背後を 洗う じーけんの はーいごを あらう

02 きれいな 選挙を したい きーれいな せーんきよを したい
03 謙虚な 態度で 望む けーんきよな たーいどで のぞむ

4(1)-**-3(0)

11 事件を つぶさに 語る じーけんを つぶさに かたる
12 故郷に 錦を 飾る こーきょうに にーしきを かざる
13 生徒を ビシビシ 叱る せーいとを びーしびし しかる
14 チャイムが 正午を 告げた チャーイムが しょーうごを つげた
15 なければ どこかで 買うよ なーければ どーこかで かうよ
16 ワインを グラスに 注いだ ワーインを グーラスに ついだ

3-040 **-4(1)-3(1)

01 元気な 姿を 見せた げーんきな すーがたを みーせた
02 新たな 任務に 着いた あーらたな にーんむに つーいた

4(1)-**-3(1)

11 プロには ハンデを つけた プーロには ハーndeを つけた
12 勝負に 待ったを 掛けた しょーうぶに まーったを かけた
13 カメラに ポーズを 取った カーメラに ポーーズを とった
14 うまさに ホッペが 落ちた うーまさに ほーツペが おちた

3-041 **-4(1)-3(2)

01 ラジオの 感度が 悪い ラージオの かーんどが わるーい
02 期限の 厳守を 頼む きーげんの げーんしゅを たのーむ
03 白衣の 天使を 目指す はーくいの てーんしを めぎーす
04 政府の 援助を 受ける せーいふの えーんじよを うけーる
05 電車の ダイヤが 狂う でーんしゃの ダーイヤが くるーう
06 高価な 衣装を まとう こーうかな いーしょうを まとーう

4(1)-**-3(2)

11 定期が 明日で 切れる てーいきが あしたーで きれーる
12 敵意を はっきり 見せる てーきいを はっきーり みせーる
13 ネオンが キラキラ 光る ネーオンが キーラキラ ひかーる
14 ゲームに ベストを 尽くす ゲーームに ベーストを つくーす

- 15 ビールは 麦から できる ビールは むぎから できる
3-042 4(2)-**-3(0)
- 01 一人で 思案に 暮れた ひとりで しあんに くれた
3-043 4(2)-**-3(1)
- 01 ばれずに 何とか 済んだ ばれずに なんとか すんだ
3-044 4(2)-**-3(2)
- 01 お鍋で ぐつぐつ 煮込む おなべで ぐつぐつ にこむ
3-045 **-4(3)-3(0)
- 01 ダンスの 相手が 変わる ダンスの あいてが かわる
4(3)-**-3(0)
- 11 帰りは 電車で 乗った かえりは でんしゃに のった
3-046 **-4(3)-3(1)
- 01 有利な 立場に 立った ゆうりな たちばに たった
4(3)-**-3(1)
- 11 痛みが きれいに とれた いたみが きれいに とれた
12 娘も 二十歳に なった むすめも はたちに なった
3-047 **-4(3)-3(2)
- 01 テレビの 映りが 悪い テレビの うつりが わるい
02 隣の 通りに 建てる となりの とおりに たてる
4(3)-**-3(2)
- 11 仲間が どんどん 増える なかまが どんどん ふえる
12 雫が ポタポタ 落ちる しずくが ぽたぽた おちる
3-048 **-4(0)-4(0)
- 01 選手の 入団が 決まった せんしゆの にゆうだんが きまった
02 内部の 事情に 明るい ないぶの じじょうに あかるい
03 粗相の お詫びに 伺う そそうの おわびに うかがう
04 彼女の 名前を 忘れた かのじよの なまえを わすれた
4(0)-**-4(0)
- 11 汚染が 各地に 広がる おせんが かくちに ひろがる

12 修行が まだまだ 足りない しゅぎょうが まーだまだ たりない
 13 視線に 敵意を 感じた しせん に てーきいを かんじた
 14 子供は 仲良く 遊んだ こどもは なーかよく あそんだ
 15 私は 嘘など 言わない わたしは うーそなど いわない

3-049 4(0)-**-4(1)

01 お呼びが 今度も なかった およびが こーんども なーかった

3-050 **-4(0)-4(2)

01 単なる 噂に 過ぎない たーんなる うわさに すぎーない
 02 いつもの 発作が 起こった いーつもの ほっさが おこーった
 03 多くの 犠牲を 払った おーおくの ぎせいを はらーった

4(0)-**-4(2)

11 虫歯が キリキリ 痛んだ むしばが キーリキリ いたーんだ
 12 子供が おんぶを せがんだ こどもが おーんぶを せがーんだ
 13 子供が ヨチヨチ 歩いた こどもが ヨーチヨチ あるーいた
 14 気温が 零度に 下がった きおんが れーいどに さがーった

3-051 **-4(0)-4(3)

01 チームの 規律が 乱れる チーームの きりつが みだれーる
 02 諸兄の 参加を 待ちます しょーけいの さんかを まちまーす

4(0)-**-4(3)

11 仕事が どんどん はかどる しごとが どーんどん はかどーる

3-052 **-4(1)-4(0)

01 パーティの 準備が 遅れる パーーティの じゅーんびが おくれる
 02 のどかな 景色が 広がる のーどかな けーしきが ひろがる
 03 旧家の 長女に 生まれた きゅーうかの ちょーうじよに うまれ
 た
 04 豪華な 料理が 並んだ ごーうかな りよーうりが ならんだ
 05 豊富な 資料が 自慢だ ほうふな しーりょうが じまんだ
 06 結果は 惨めに 終わった けっかは みーじめに おわった

4(1)-**-4(0)

- | | | | | | | |
|----|-----|------|------|---------|-------|------|
| 11 | 住所を | 書くのを | 忘れた | じゅーうしよを | かーくのを | わすれた |
| 12 | 係が | 合図を | 送った | かーかりが | あーいずを | おくった |
| 13 | 不便を | つくづく | 感じた | ふーべんを | つくーづく | かんじた |
| 14 | 病魔が | 幼児を | 襲った | びよーうまが | よーうじを | おそった |
| 15 | 何でも | 器用に | まとめる | なーんでも | きーように | まとめる |

3-053 **-4(1)-4(1)

- | | | | | | | |
|----|-----|------|-----|-------|-------|--------|
| 01 | 鋭利な | ナイフが | 凶器だ | えーいりな | ナーイフが | きよーうきだ |
|----|-----|------|-----|-------|-------|--------|
- 4(1)-**-4(1)

- | | | | | | | |
|----|------|------|------|--------|-------|--------|
| 11 | 彼女は | いつでも | のんきだ | かーのじよは | いーつでも | のーんきだ |
| 12 | 良ければ | わが家に | 来ないか | よーければ | わーがやに | こーないか |
| 13 | 今度は | 速さで | 勝負だ | こーんどは | はーやさで | しよーうぶだ |
| 14 | 彼女は | テストに | パスした | かーのじよは | テーストに | パースした |

3-054 **-4(1)-4(2)

- | | | | | | | |
|----|-----|------|------|--------|--------|-------|
| 01 | 患者の | 意識が | 戻った | かんじゃの | いーしきが | もどーった |
| 02 | 終夜の | 作業に | 疲れた | しゅーうやの | さーぎょうで | つかーれた |
| | | | | | | た |
| 03 | 鋭利な | 刃物で | 刺された | えーいりな | はーもので | ささーれた |
| 04 | 小さな | 容器に | 移した | ちーいさな | よーうきに | うつーした |
| 05 | 豪華な | ドレスに | 着替えた | ごーうかな | ドーレスに | きがーえた |
- 4(1)-**-4(2)

- | | | | | | | |
|----|------|------|------|-------|--------|-------|
| 11 | 代打が | ヒットを | 放った | だーいだが | ヒョットを | はなーった |
| 12 | ノルマを | 何とか | 果した | ノールマを | なーんとか | はたーした |
| 13 | 無欲で | 勝利を | 掴んだ | むーよくで | しよーうりを | つかーんだ |
| 14 | 貴族は | 栄華を | 極めた | きーぞくは | えーいがを | きわーめた |
| 15 | 寒さで | 歯の根が | 合わない | さーむさで | はーのねが | あわーない |
| 16 | 涙が | ぼろぼろ | こぼれた | なーみだが | ぼーろぼろ | こぼーれた |

3-055 **-4(1)-4(3)

- | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|--------|--------|-----|
| 01 | 主人の | 配慮が | 嬉しい | しゅーじんの | はーいりよが | うれし |
| | | | | | | ーい |

02 郷土の 資料が 少ない きょーうどの しーりょうが すくな
ーい

4(1)-**-4(3)

11 奴らは 夜な夜な 集まる やーつらは よなよな あつまーる
12 涙が ボロボロ こぼれる なーみだが ほーろぼろ こぼれーる
13 次回は 名古屋で あります じーかいは なーごやで ありまーす

3-056 **-4(2)-4(0)

01 三時の おやつを いただく さーんじの おやーつを いただく

4(2)-**-4(0)

11 君らは 握手を 交わした きみーらは あーくしゅを かわした

3-057 4(2)-**-4(1)

01 昨日は さっさと 帰った きのーうは さーっさと かえーった

3-058 4(2)-**-4(2)

01 素手では 熱くて 持てない すでーでは あーつくて もてーない

3-059 4(2)-**-4(3)

01 余所では 謙虚に 振舞う よそーでは けーんきよに ふるまーう

3-060 **-4(3)-4(0)

01 神への 祈りが 通じた かーみへの いのりーが つうじた

02 空虚な あがきを していた くーうきよな あがきーを していた

4(3)-**-4(0)

11 二人は ゼロから 始めた ふたりーは ゼーロから はじめた

12 田植が そろそろ 始まる たうえーが そーろそろ はじまる

3-061 **-4(3)-4(1)

01 被害の 届けが 相次ぐ ひーがいの とどけーが あーいつぐ

3-062 **-4(3)-4(2)

01 愉快的な 仲間が 揃った ゆーかいな なかまーが そろーった

02 最後は 言葉も とぎれた さーいごは ことばーも とぎーれた

4(3)-**-4(2)

11 ふたりを ようやく 招いた ふたりーを ようやく まねーいた

3-063 4(3)-**-4(3)

01 昼間は 電車が 少ない ひるまーは でーんしゃが すくなーい

3-064 **-5(0)-2(0)

01 稽古の おさらいを する けーいこの おさらいを する

02 大きな 関心を 呼ぶ おーおきな かんしんを よぶ

03 ガイドの 説明を 聞く ガーイドの せつめいを きく

04 二三の 質問を する にーさんの しつもんを する

5(0)-**-2(0)

11 共犯が 確かに いた きょうはんが たーしかに いた

3-065 **-5(0)-2(1)

01 我慢の 限界が ある がーまんの げんかいが あーる

02 安易な 方法を取 取る あーんいな ほうほうを とーる

5(0)-**-2(1)

11 監督が サインを 出す かんとくが サーインを だーす

12 年齢が ネットに なる ねんれいが ネットに なーる

13 品質に 大差は ない ひんしつに たーいさは なーい

3-066 5(1)-**-2(0)

01 トーストに バターを ぬる トーーストに バーターを ぬる

3-067 5(1)-**-2(1)

01 ランナーが リードを とる ラーナーが リーードを とーる

3-068 5(2)-2(0)

3-069 **-5(2)-2(1)

01 多くの 犠牲者が 出た おーおくの ぎせーいしゃが でーた

02 最後の 切札を 出す さーいごの きりーふだを だーす

3-070 5(3)-**-2(0)

01 銘々が 意見を 言う めいめーいが いーけんを いう

3-071 **-5(3)-2(1)

01 清楚な 雰囲気を持 持つ せーいそな ふんいーきを もーつ

3-072 **-5(4)-2(0)

01 以前の 穴埋めを する いーぜんの あなうめーを する

3-073 5(4)-2(1)

3-074 **-5(0)-3(0)

01 夜分の 訪問を 詫びる やーぶんの ほうもんを わびる

3-075 **-5(0)-3(1)

01 チームの 形勢が 不利だ チーームの けいせいが ふーりだ

02 謀反の 企てが ばれた むーほんの くわだてが ばーれた

03 新たな 発見が あった あーらたな はっけんが あーった

04 即時の 解答を 避けた そーくじの かいとうを さーけた

5(0)-**-3(1)

11 作戦を 新たに 練った さくせんを あーらたに ねーった

12 水かさが 見るまに 増えた みずかさが みーるまに ふーえた

13 仕事から わけなく 見えた しごとから わーけなく みーえた

3-076 **-5(0)-3(2)

01 のんきな 性格で 困る のーんきな せいかくで こまーる

02 事件の 真相に 迫る じーけんの しんそうに せまーる

03 豊かな 水量を 誇る ゆーたかな すいりょうを ほこーる

04 フィルムの 現像を 頼む フィールムの げんぞうを たのーむ

05 コートの 排水が 悪い コーートの はいすいが わるーい

06 チームの 勝率は 高い チーームの しょうりつは たかーい

07 設備の 充実を 計る せーつびの じゅうじつを はかーる

5(0)-**-3(2)

11 伝統を 頑固に 守る でんとうを がーんこに まもーる

3-077 **-5(1)-3(0)

01 数奇な 人生を送る すーうきな じーんせいを おくる

02 正午の サイレンが 鳴った しょーうごの サーイレンが なった

03 豪華な 商品が 当たる ごーうかな しょーうひんが あたる

5(1)-**-3(0)

11 当人が 事実を 語る とーうにんが じーじつを かたる

12 キャッチャーが サインを 送る キャッチャーが サインを
おくる

3-078 5(1)-**-3(1)

01 セーターを せつせと 編んだ セーターを せつせと あんだ

02 来月は 行事が 多い らいげつは ぎょうじが おおい

03 富士山も 綺麗に 見えた ふじさんも きれいに みえた

3-079 **-5(1)-3(2)

01 数奇な 運命を たどる すうきな うんめいを たどる

5(1)-**-3(2)

11 データーが なんとか 揃う データーが なんとか そろう

12 人生に 懐疑を 抱く じんせいに かいぎを いだく

3-080 5(2)-**-3(0)

01 陽炎が ゆらゆら 揺れる かげろうが ゆらゆら ゆれる

02 加害者が 姿を 消した かがいしゃが すがたを けした

3-081 **-5(2)-3(1)

01 古風な 建物が 多い こふうな たてものが おおい

5(2)-**-3(1)

11 チケットが なんとか はけた チケットが なんとか はけた

12 利用者は かなりの 数だ りょうしゃは かなりの かずだ

13 目印に リボンを 付けた めじるしに リボンを つけた

14 青森で ぐんぐん 伸びた あおもりで ぐんぐん のびた

3-082 **-5(2)-3(2)

01 些細な 出来事を 怒る ささいな できごとを おこる

5(2)-**-3(2)

11 グループで 仲良く 分ける グループで なかよく わける

3-083 **-5(3)-3(0)

01 無益な 争いを やめる むえきな あらそいを やめる

5(3)-**-3(0)

11 合の手を 上手に 入れた あいのてを じょうずーに 入れた

3-084 **-5(3)-3(1)

01 大きな たん瘤が できた おーおきな たんこーぶが でーきた

5(3)-**-3(1)

11 借金が 見るまに 増えた しゃっきーんが みーるまに ふーえた

12 参加者が 一挙に 増えた さんかーしゃが いーつきよに ふーえた

13 柱にも 誰かが 書いた はしらーにも だーれかが かーいた

3-085 5(3)-**-3(2)

01 年寄り は 頑固で 困る としよーりは がーんこで こまーる

02 百姓が 苦渋を なめる ひやくしよーうが くじゅうを なめーる

3-086 **-5(0)-4(0)

01 選手の 入場が 始まる せーんしゆの にゆうじょうが はじまーる

02 新たな 問題が 生じた あーらたな もんだいが しょうじた

03 不運な 一生を 送った ふーうんな いっしょうを おくった

04 安価な 同情は 要らない あーんかな どうじょうは いらぬ

5(0)-**-4(0)

11 障害を 難なく こなした しょうがいを なーんなく こなした

12 客足が 最近 疎らだ きゃくあしが さいきん まばらだ

13 風向きが にわか に 変わった かざむきが にーわか に かわった

14 口外は 一切 無用だ こうがいは いーっさい むようだ

15 水音が さやかに 聞こえる みずおとが さーやかに きこえる

16 成績が ぐんぐん 上がった せいせきが ぐーんぐん あがった

3-087 **-5(0)-4(1)

01 平易な 問題で 良かった へーいいな もんだいで よーかった

5(0)-4(1)-**

11 人質が 無傷で 帰った ひとぢちが むーきずで かーえった

12 農民が 謀反を 起こした のうみんが むーほんを おこーした

3-088 **-5(0)-4(2)

- 01 技量の 向上を はかった ぎーりょうの こうじょうを はかーつ
た
- 02 極度の 緊張で 疲れた きょーくどの きんちょうで つかーれ
た
- 03 生徒の 大半が 休んだ せーいとの たいはんが やすーんだ
- 04 適度な 運動は 許した てーきどな うんどうは ゆるーした
- 05 安易な 方法に 頼った あーんいな ほうほうに たよーった
- 06 事態の 収集に 急いだ じーたいの しゅうしゅうに いそーい
だ

5(0)-**-4(2)

- 11 宿題は さっさと 済ませた しゅくだいは さーつさと すまーせた
- 12 優勝を 惜しくも 逃した ゆうしょうを おーしくも のがーした
- 13 監督に 全部を まかせた かんとくに ぜーんぶを まかーせた

3-089 **-5(0)-4(3)

- 01 周囲の 反対を 押し切る しゅーういの はんたいを おしきーる
- 02 資金の 調達に 苦しむ しーきんの ちょうたつに くるしーむ
- 03 労使の 対立が 激しい ろーうしの たいりつが はげしーい
- 04 組織の 改革に 乗り出す そーしきの かいかくに のりだーす
- 05 白亜の 殿堂が そびえる はーくあの でんどうが そびえーる
- 06 怪奇な 現象が 見られる かーいきな げんしょうが みられーる

5(0)-**-4(3)

- 11 野次馬が わんさと 集まる やじうまが わーんさと あつまーる
- 12 栄養が 案外 少ない えいようが あんがい すくなーい
- 13 黒煙を もくもく 吐き出す こくえんを もーくもく はきだーす

3-090 **-5(1)-4(0)

- 01 年始の 挨拶に 伺う ねーんしの あーいさつに うかがう
- 02 哀れな 人生を送った あーわれな じーんせいを おくった

5(1)-**-4(0)

- 11 本人は 事実を 知らない ほーんにんは じーじつを しらない
 12 サービスに チップを はずんだ サービスに チップを はず
 んだ

3-091 5(1)-**-4(1)

- 01 ランナーが ホームへ 帰った ランナーが ホームへ かへつ
 た
 02 キャッチャーが ホームを 死守した キャッチャーが ホームを
 ししゅした
 03 現地へは 電車が 便利だ げんちへは でんしゃがべんりだ

3-092 **-5(1)-4(2)

- 01 いつでも 船長が 怒った いっつでも せんちょうが おこつ
 た
 02 昨日の 天気では できない きのうの てんきでは できーない

3-093 **-5(1)-4(3)

- 01 幾多の 困難も 乗りきる いくたの こんなんも のりきーる
 02 ゲストの 挨拶も あります ゲストの あいさつも ありまーす
 5(1)-**-4(3)

- 11 選手が 今すぐ 集まる せんしゅが いますぐ あつまーる
 12 奥さんは 料理が 上手だ おくさんは りょうりが じょうず
 ーだ

3-094 **-5(2)-4(0)

- 01 社長の 一言で 決まった しゃちょうの ひとこと で きまった
 02 悲劇の ヒロインを 演じた ひげきの ヒロインを えんじた
 5(2)-**-4(0)

- 11 加害者が 姿を くらます かがいしゃが すーがたを くらます
 12 不都合が 新たに 生じた ふつごうが あらたに しょうじた
 13 坂道を 一気に 登った さかみちを いっきに のぼった
 14 恐いので がたがた 震えた こわいので がたがた ふるえた
 15 お駄賃は 母から 貰った おだちんは ははから もらった